

●モノグラフ小学生ナウ



非行と親たち

vol.3-2

©1983(株)福武書店 教育研究所/加藤智穂・賀川雅子・江原有輝子・島野典幸
東京学芸大学助教授 深谷和子・江戸川区立鹿本小学校教諭 明田雅恵



目次

特集／積木くずし考	2
調査レポート／非行と親たち	
要約	6
1. 子どもの周辺	8
● 子どもの環境	9
● 子どもにとっての家族	10
2. 非行化への予測	13
● ひょっとして将来	13
● 非行への懸念	15
3. 非行が起きたら	19
● 1回から3回までの万引き	20
● 窃盗と喫煙	21
まとめに代えて	23
シリーズ／子ども考現学	
子どもの姿・昔と今(12) 学級王国	25
資料1・調査票見本	30
資料2・学年・性別集計表	34

積木くずし考

東京学芸大学助教授 深谷和子



俳優の穂積隆信さんの書かれた『積木くずし』が二百数十万部を売り上げて、超ベストセラーになっていることは、どなたもご存知だろう。中学生の非行問題が、これほど騒がれている時代なので、私たち親の胸の中には、ひょっとしたら将来自分の子どもも、いやもしかしたら明日にでも、という気持ちがどこかにしのび込んでいて、他人ごとには思えないからなのだろう。

この手記はその後テレビドラマ化されて、やはり大きな反響を呼んだ。一番の見どころというか、われわれが共感を持って見たのは、非行化の度合いを日々に深くしていく娘（中1の由香里ちゃん、穂積氏の愛娘）と、その一挙手一投足におろおろし、とまどう両親の

姿だった。いつの間にか視聴者は、画面の両親の姿と自分を同一化し、自分だったらこの場面で娘にどう対応するか、またどう対応するのが一番正しい解答なのかと、真剣に模索している自分を見い出してしまうことになった。

しかしこのドラマ(手記)のおもしろさは、その開きの背後にもうひとつ、警視庁少年課の心理鑑別技師で、穂積さん親子のカウンセリングを担当された「竹江さん」から、両親に対して出された指導助言があって、それがしろうとの親にはなかなかなじめない内容を持ったものであったこと。穂積さんご夫妻は、娘と闘うだけではなく、この助言の内容とも闘わねばならなかった。つまり三つ巴の闘いが、

その筋書きを一層おもしろくしたのだった。

専門家からの助言

この助言の内容は、かなり大胆で骨太なものである。くり返しになるが、カウンセリングの道へ多少とも踏み込んだ者でないと、その意味が今ひとつよく理解できないものではないかと思われるのである。事実穂積さんご夫妻もその内容を前にして、こう書いておられる。

「私は、これを読んだとき、思わず妻と顔を見合わせた。妻も茫然とした顔で私を見た。書かれてあることが、まるで見当ちがいな感じがした。なぜか体から血が引いて行くような気がした。体が宙に浮いて行くような思いだった。私はもう一度読み返してみた。冷静さを取り戻した私は、

(こんなばかな。こんなことができるものか) と思った。」

穂積さんご夫妻の、中1になる由香里ちゃんは、小さい時から体の弱い子どもで、ずっと入退院をくり返していた子どもだった。その由香里ちゃんも中学生となり、すっかり健康になって、一家には明るい春がやって来たかのように思われた。ところが中1の終わり頃から、突然由香里ちゃんの態度が荒れ始め、家出、登校拒否、転校、補導、シンナー、という状況が次々と展開され、万策尽きた両親が、警視庁の門をくぐるころから、この手記は始まっている。

その穂積さんご夫妻の前に、竹江さんが出された第一の課題は、こんなものだった。

1. 子どもと話し合いをしてはいけない。
(親の方から絶対に話しかけてはいけない。子どもの方から話しかけてきたら、愛情を持って相づちだけを打つ。意見を言うてはいけない)
2. 子どもに交換条件を出してはいけない。

相手の条件も受け入れてはいけない。

3. 他人を巻き込んではいけない。
(どのような悪い友だちだと思っても、その友だちやご両親のところへ抗議したり、また、電話をかけたりにしてはいけない)
4. 日常の挨拶は、子どもが挨拶しようがしまいが、「お早う」「お帰り」「お休みなさい」等、親の方から正しくする。子どもがそれに応じなくても、叱ったり文句を言ったりしないこと。
5. 友だちからの電話、その他連絡があった場合、それがいかなる友だちからのものであっても、事務的に正確に本人に伝えること。

では私も、では困る

今お母さんたちの集まりの席上では、よくこの本のことが話に出てくる。もし子どもが非行をしたら、あのアドバイスのとおりにやってみよう、と言われる人が多いようである。むろん現在、不幸にしてちょっぴり非行の道に入りかけたお子さんをお持ちのご両親は、すでにわらをもつかむ気持ちでこの本を買って求め、竹江さんのアドバイスのとおりにして



みようとなさっているかもしれない。

そこで私は心配になる。この本に出てくるアドバイスは、実に見事で適切なものである。でもそれは、たまたま由香里ちゃんという13歳の女の子に出された個人カルテの中身なのであって、すべての非行少年少女の場合の対応策ではない。

由香里ちゃんという女の子は、本で読む限り、知能指数の高い、それまでによい家庭で大切に育てられた、基本的にはいい子だったと思われる。非行はしていても、根までグズグズという状態ではなく、一番奥のところでは、人一倍しっかりした——つまり由香里ちゃんなりの考え方で自分を大切にする、健康なパーソナリティーがあったように思う。だからこうした骨太な「課題」が出され、それが成功したのだと思ってほしい。さもないとよく指摘されるように、育児書に、「〇〇か月の赤ちゃんは、ミルクを180cc飲むのが、ふつうです」とあると、日本中の〇〇か月の赤ち



ちゃんのお母さんが、そろって180ccのミルクを飲ませようとするのと、同じ愚をたどることになるのではないか。

非行も他の問題行動もそうだが、表面は似たような問題でも、その根は一人ひとり全部違うので、対応の仕方、出されるカルテの内容はみな違うと思ってい。そこに、実にゼいたくなことのようなのだが、専門家から一対一で個人的なカウンセリングを受けることの意味があるのだから。

竹江メモの真意

さて先の課題に戻ろう。竹江さんの助言を、私なりに説明してみたいと思う。専門家の助言は、しろうとの助言と違って実に奥深い意味を持つものなのである。それがおわかりいただけたらと思う。

竹江メモの第一の、「話し合いをしてはいけない。相づちだけを打つ」だが、これはこうした非行の子どもを持つ親は、口を開けば全部それがお説教につながってしまうからなのである。こうした場合子どものしていることがいかに悪いことか、親は、口を極めて言って聞かせようとする。しかし子どもの方は、自分のしている行為が、世に言う「してはいけないこと」であることを、百も承知している。わかってはいるが、どうしてもやめられないのが、彼らの行為なのだと言ってもよいかもしれない。

そこで、「話し合うな、意見を言うな」のメモが出てくるのだろう。本当は、子どものしている行為への批判でなければ、(全く違う話題なら)意見を言ってもかまわないはずなのだが、しろうとにはその区別がつかない。つい他の話題のはずが、お説教、子どもの考え方や行為への批判、つまり子どもに対する「拒否」につながってしまうのである。そこで「一切話しかけてはいけない。意見を言うてはならない」となるのだろう。

しかしこれでは親と子が全く口を開かないことになってしまう。竹江メモの真意は、親と子の関係を断つことにあるのではなくて、

逆に「子どものしていることを、なんとかして許容してやるように、理解できなくても、まちがっていても、とにかく暖かく見守っていてやるように」ということなのだから、これでは困ってしまう。それで「愛情を持って相づちだけを打つ」の項目が生きてくる。これに関しては、4、「日常のあいさつを、親の方から正しくする」も加わる。顔を合わせれば、あいさつだけはちゃんとしてくれて、こちらが話しかければ、心を込めて聞いてくれ、相づちだけを打ってくれる相手——なんとすばらしい相手だろう。竹江メモは、そうした親になるように、と言っているのである。

このことは、私たち親の中でも、例えば「支配的な親」と言われるようなタイプの場合によくあてはまる助言のようである。自分の意見を細部にまで持ちすぎている、それを常に他人の前に披瀝ひれきせずにはいられないタイプ、口やかましい、口かずの多いタイプの親は、子どもの自己主張を抑え、考える力をうばい、親の作った型の中におしこめてしまいがちである。これでは子どもの健康なパーソナリティーは育たない。こうしたタイプの親たちの場合は、この「意見を言うな。ただ愛情を込めて相づちだけを打て」という助言が、ピシヤリあてはまることになるだろう。

ついでに解説してしまうなら、この第一の課題の残りの事項は、たとえ非行をしていてもそれは「その人格の一部」でしていることに過ぎないのだから、残りの人格を無視するようなことがあってはいけない、という主旨なのだろう。テレビドラマでも、悪い友だちからかかってくる電話の内容をメモした母親が、必死の面持ちで、由香里ちゃんにその内容を取りつぐ場面が度々出てきていた。たとえ悪い子どもでも、その子どもなりに1人の人間としてのつきあいを、家の外で持っている。それを1個の人格の行為としてちゃんと認めてやること。それがこのメモの大部分を貫く精神と言えよう。



子育て憲法

この課題に次いで、『積木くずし』では次々と新しい課題が出されていく。その内容は、どんなに理由があっても、お金を与えるな、とか、門限を決めて、破ったら絶対に家の中に入れてはいけない——などの、かなり厳しい内容を持っている。ここで私たちはまたひとつ学ぶことになる。第一の課題で出された「子どもを受け入れよ」ということは、決してズルズルと子どものわがままをとおし、子どもの言いなりになることではないのである。愛情を持って見守ることと、たとえ家庭内であってもひとつの社会的なルールを厳しく守らせることは、決して矛盾しないのだということ。それどころか子どもには「承認(理解、受け入れ)」と「拒否」という、2つの態度をきちんと示しつつけることが、しつけや教育上何よりも必要なことを、このメモは物語っている。

そうした意味で、この本が二百数十万部も売れたことには、それなりの社会的欲求があったわけで、しかもその中からこうした「子育ての憲法」の意味を読みとってもらえたらと、さらにこの本が多くの人に読まれるよう、私も声援を送りたい気持ちである。

調査レポート／非行と親たち

東京学芸大学助教授 深谷和子
江戸川区立鹿本小学校教諭 明田雅恵



① 過剰な信頼感

将来自分の子どもの非行化の可能性については、男子の87%、女子の93%の母親が、「ほとんど+全く」ないだろうと答えている。(図11)



② 学力との関連



勉強のできない子どもの親の方が、できる子どもの親よりも、中核的な非行行為をひき起こす可能性を懸念し、逆にできる子どもの親は、青年期的な逸脱行動の可能性を心配する傾向が見られる。(図13)

③ 出生順との関連で

長子の方が、第2子以下よりも問題行動をひき起こす可能性を憂慮されている。(図14)



4

学歴との関連で

低学歴の親の方が、高学歴の親よりも、わが子の逸脱行動への懸念を持っていない。(図15・図16)



5

甘い非行感覚

500円ぐらいの小額の万引き1回では、親の方に、それほど厳しく叱ろうとする構えがない。むしろ叱りはするものの、その叱り方の度合いはややもの足りない感じがする。(図17・表1)



6

相談相手は担任

個々の非行行為について、まず相談されるのは担任であり、専門機関を利用しようとする構えが低いことが、問題である。(図17・図18・図19・図20・図21・表2)



サンプル数 (人)

学 年	母 親
4 年	202
5 年	333
6 年	407
計	942

調査概要

対象●東京都、徳島・静岡・千葉県の小学校4・5・6年生の母親942名
 時期●昭和57年9月～12月
 方法●学校通しによる質問紙調査

1. 子どもの周辺



子どもの非行が、今日のように世をあげての関心事になることは、全く予測されなかったわけではない。校内暴力がテーマの『暴力教室』というアメリカ映画が日本で上映されたのは、すでに28年も前のことである。流行に関して常にアメリカの後塵を拝していたわが国なら、その日がいつか、という気持ちはたいていの人の中にあっただと言えるだろう。しかし一方ではアメリカと違って、母性原理の支配する家族主義的な風土の日本社会では、非行化現象もそれほど拡大はしないのではないか、という楽観論も、ある程度の確信を持って、人びとの間にあっただのではなからうか。しかし今日、荒れる中学校の現状を見ていると、そうした楽観論に支えられて、子どものしつけや教育に今ひとつきちんとした手をうってこなかったわれわれおとなたちの甘さへの反省も生まれてくる。

そして今日、親たちの中に、子どもの非行についての見通しやその対策が、どのくらいきちんとでき上がっているものか、遅ればせながらやはり見極めておかなければという気もする。そこで本調査は、今回親たちに焦点をあてて、母親がわが子の非行可能性をどの程度予測しているか、また非行にどう対応しようとしているかを探って見ることにした。

子どもの環境

まずはじめに、本調査対象の母親の持つ子どもたちが今、どんな家庭環境の中に暮らしているか、その様子をざっと追って見ることにしよう。

図1はまず両親の学歴である。両親とも高卒が半分を超え、母親の方は短大卒、大卒を合わせると12%、父親は大卒が20%と、ひと頃に比べ次第に日本が高学歴化してきた様子が実感される数字である。

図2は母親の職業で、専業主婦はわずか3分の1、なんらかの形で働いている母親たちが増えてきている様子がわかる。それだけに子どものしつけや教育も難しくなっている時代と言えるだろう。

図3、図4は、子ども部屋の有無である。全体の3割は勉強部屋として個室を与えられ、しかも図4が示すように、学年を追ってその

割合は、増えていく。きょうだいと同室をも含めれば、75%が勉強部屋を持っている。地域的にはむろん住宅事情に差があって、徳島で85%、東京・千葉で75%、静岡で65%という数字である。それぞれの住宅事情の中で、子どもたちは最大に優遇された扱いを受けていると見てよいだろう。

さて図5はやや角度を変えて、自分の子どもに対する学力評価である。「上の方」と「中の上ぐらい」を合わせて38%、「中よりやや下」と「かなり下の方」を合わせて20%だから、一般の分布と比べて考えてやや過大評価、身びいきが感じられる数字である。つまりまだ子どもの学力や能力を直視せずに、やや甘い夢を抱ける時期の親たち、とも言えるのだろう。

図1・父母の学歴

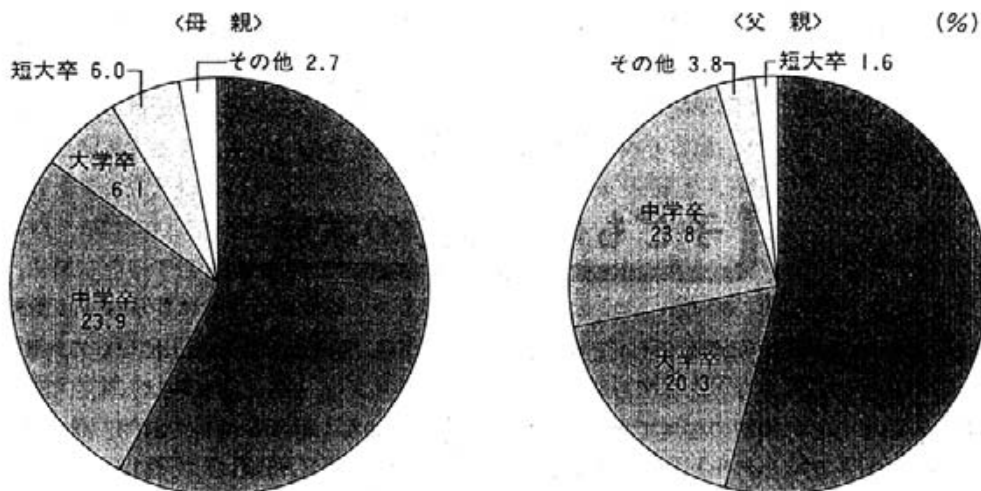


図2・母親の職業

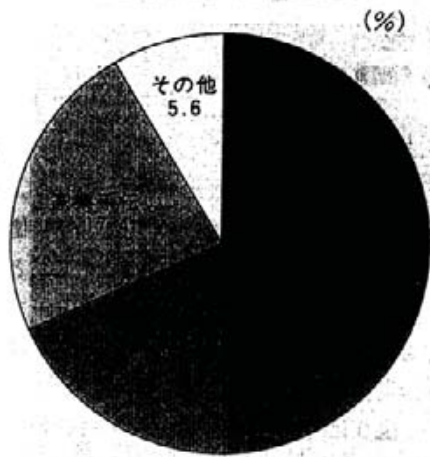


図3・子ども部屋の有無

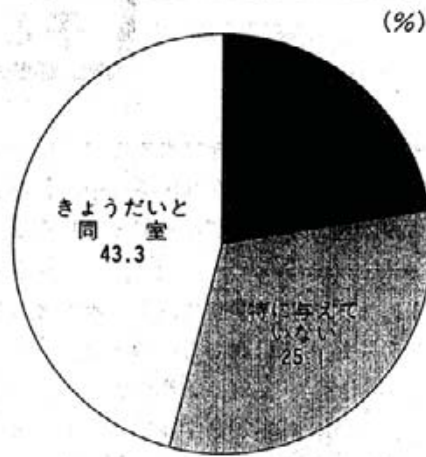


図4・学年×個室の有無

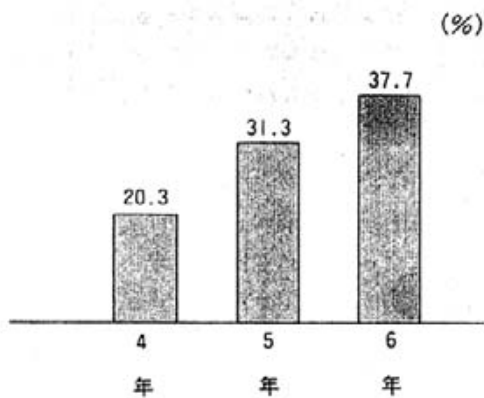
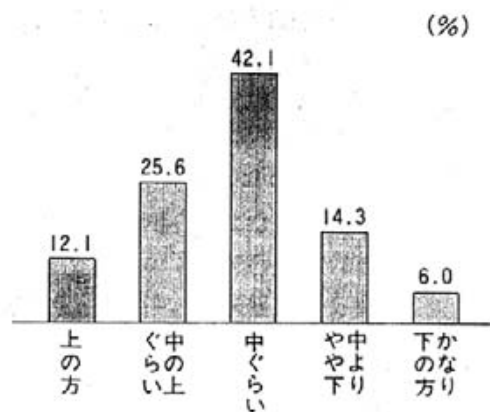


図5・子どもの成績



子どもにとっての家族

次に子どもたちの親や家族のタイプ、親と子どもとの接触のあり方などを見てみよう。

図6は、子どもとの接触の程度である。父親も母親も、「子どもとわりとよく接触している」と答えている。母親も就労率の高い割には、「忙しい」と答える者が2割弱。父親はこれが3割弱と増えるが、しかし世に言われているよりは接触の機会があるようである。

ちなみに地域差を見ると、「忙しくてあまり接触できない」と答える父親は、東京で34%、千葉で30%、静岡・徳島で24%。思ったほど差がない。なお母親にはそれ以上にほとんど地域差が見られない。

それではそうした日常の中で、しつけは父親と母親のどちらが受け持っているのだろうか。図7が示すように、母親が主と答える者

図6・子どもとの接触

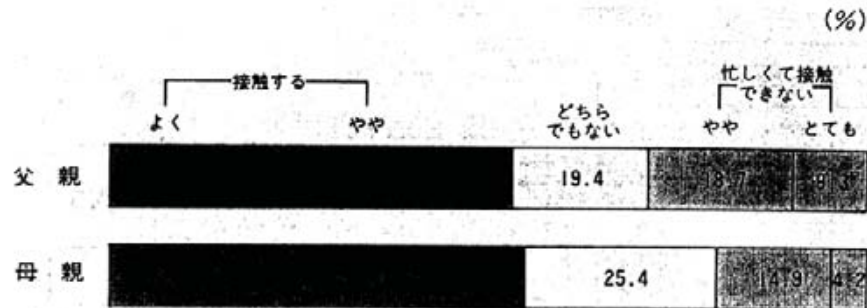
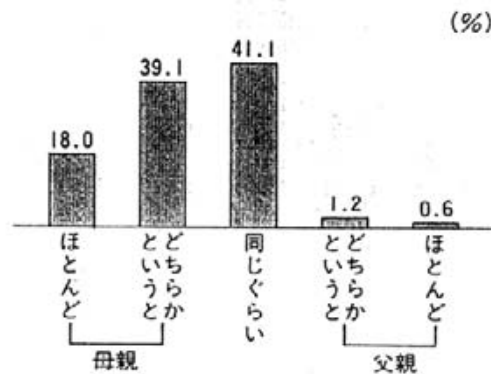


図7・父母のしつけの比重



が57%、半々が41%で、しつけの主導権はほぼ母親にある様子が見える。

それと関連するデータが、図8で、親として「甘くてやさしい」かそれとも「こわくて厳しい」かについて、評定を求めた結果である。父親については「甘くてやさしい」タイプと評価している者が多く、母親はそれよりもやや厳しい方、と見なされている。つまり父親は図7で見たように、しつけにそれほど直接関与していない様子が見てとれる。図9はこれをさらに、家族のタイプに関連させてとらえようとしたもので、献立のたて方を「一番働いているお父さんの好みに合わせるべきだ」「育ち盛りの子どもの好みに合わせるべき

だ」という2つの意見を用いて尋ねてみたものである。図が示すように、ここでも現代の家族のあり方は、どちらかというところ「父親中心」より「子ども中心」であることが推定される。

しかし父親が子どものしつけや教育に全く関与せず、家の中での座を持たない、というわけではないことが、図10からわかる。母親の日頃の相談相手は、ダントツに父親となっている。家庭の中で子どもが大切にされ、母親が直接子どものしつけに関わることも多いものの、父親も間接的には子どもの成長にかなりの影響力を持っていると見てよいだろう。

図8・父母のタイプ

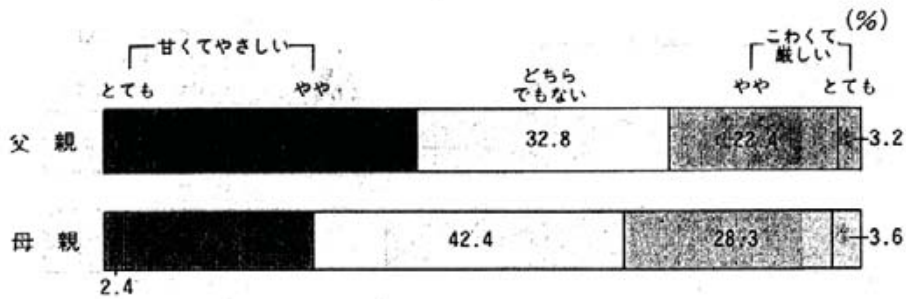


図9・家族のタイプ

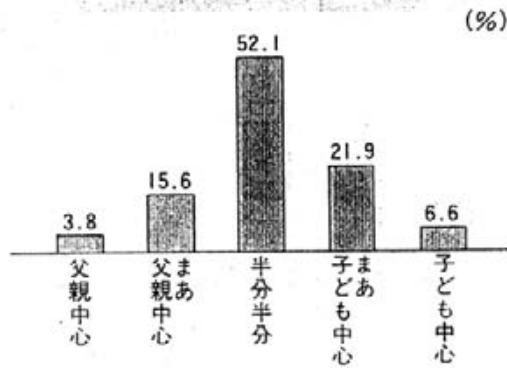
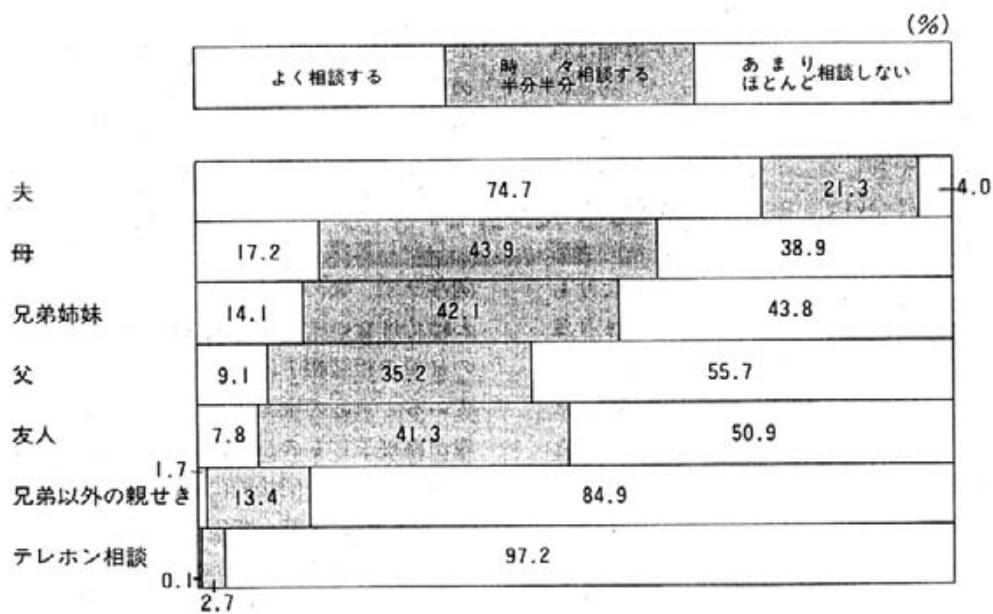


図10・日頃の相談相手



2. 非行化への予測



ひょっとして将来……

これだけ中学生の非行に関心が持たれている現在、中学進学を1、2年後にひかえた子どもを持つ親たちは、自分の子どもも将来問題行動を起こし、非行化する可能性を持った存在と考えているのだろうか。それとも非行は親たちにとってまだ対岸の火事にすぎないテーマなのだろうか。

図11はこの点を尋ねてみたものである。全体として見られるのは、「わが子に限って」式のやや過剰なまでのわが子への信頼感である。男子の母親の30%、女子の母親の46%は「全く非行化の可能性はない」と答えており、「あまりない」を合わせると、非行化について懸念していない親たちは、男子の親の87%、女子の親の93%にも達する。わが子への信頼感それ自体は結構なことだが、今の世の中で、

非行化の側面に限れば、果たしてこれだけの信頼感を子どもに持つことが許されるのだろうか。

この点をさらに具体的な問題行動のレベルで尋ねてみたのが、図12である。図は男子の場合の、予期レベルの低い項目の順に並べてある。全体として、非行深度の浅いもの（タバコ、酒、成人映画やポルノ雑誌、盛り場徘徊、ディスコへの出入りなど）は、多少とも予期されているが、恐喝をはじめとするレッキとした非行については、男子ですら6割近くの母親が「全く思わない」と答えている。

しかしむろん中には、非行化の懸念を持つ層がないではない。詳しい分析は後にするとして、たとえわずかにせよその可能性を心

図11・子どもが非行化する可能性

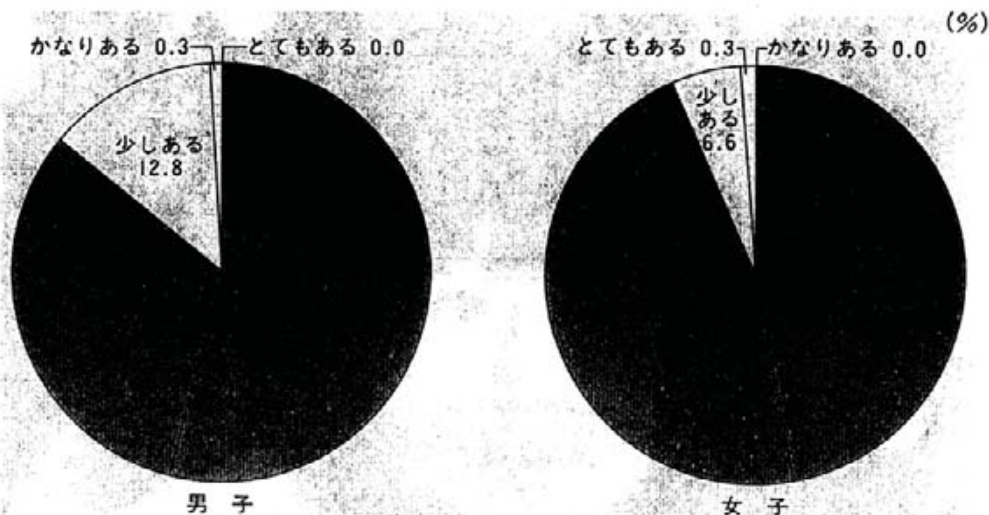
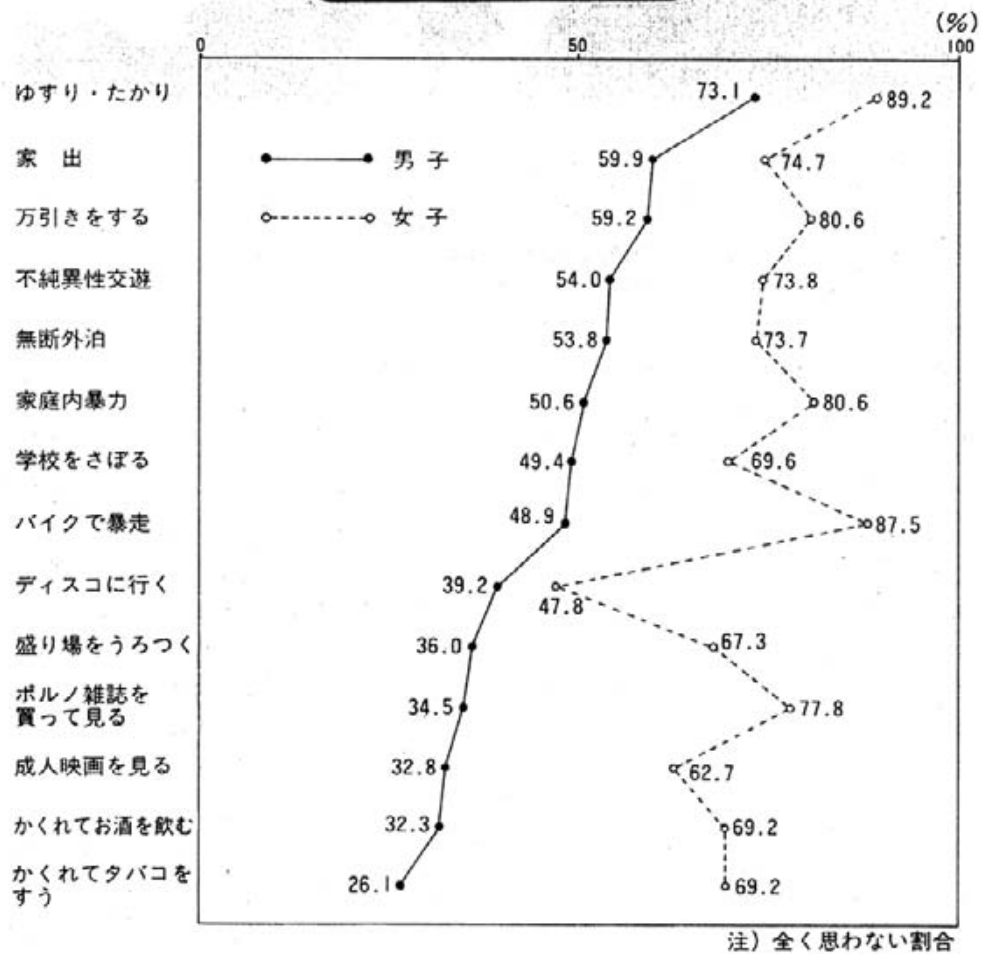


図12・問題行動の可能性



配する親は、巻末の集計表にあるように恐喝で1%、家出5%、万引き4%、不純異性交遊4%、無断外泊4%、家庭内暴力7%、怠学8%、バイクで暴走8%、ディスコ19%、盛り場徘徊13%、ポルノ雑誌15%、成人映画

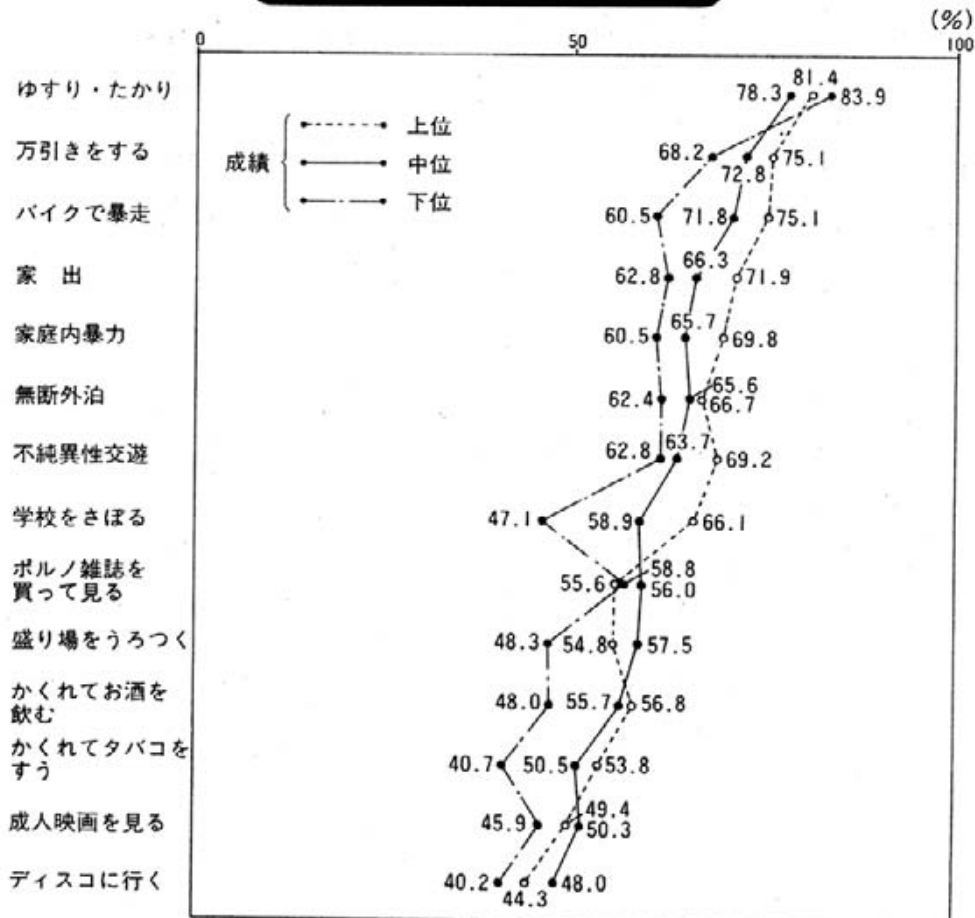
18%、飲酒18%、喫煙19%とそれぞれに存在する。今日の親たちの中のこうした楽観派と不安派とは、どこから生まれてくるのだろうか。

非行への懸念

まず図13は、問題行動を起こす可能性についての懸念の度合いと、子どもの学力（親の把握している）との関連である。学力を上中下に分けると当然のことながら、ほとんどの項目で、学力の低い子どもについての方が、

高い子どもよりもより不安が持たれている。おもしろいのは、問題行動の中でも、「恐喝、ポルノ雑誌を見る、盛り場徘徊、成人映画、ディスコ」の項目は、学力のレベルと不安との関連が他の項目と入れかわって

図13・問題行動の可能性×成績



注) 全く思わない割合

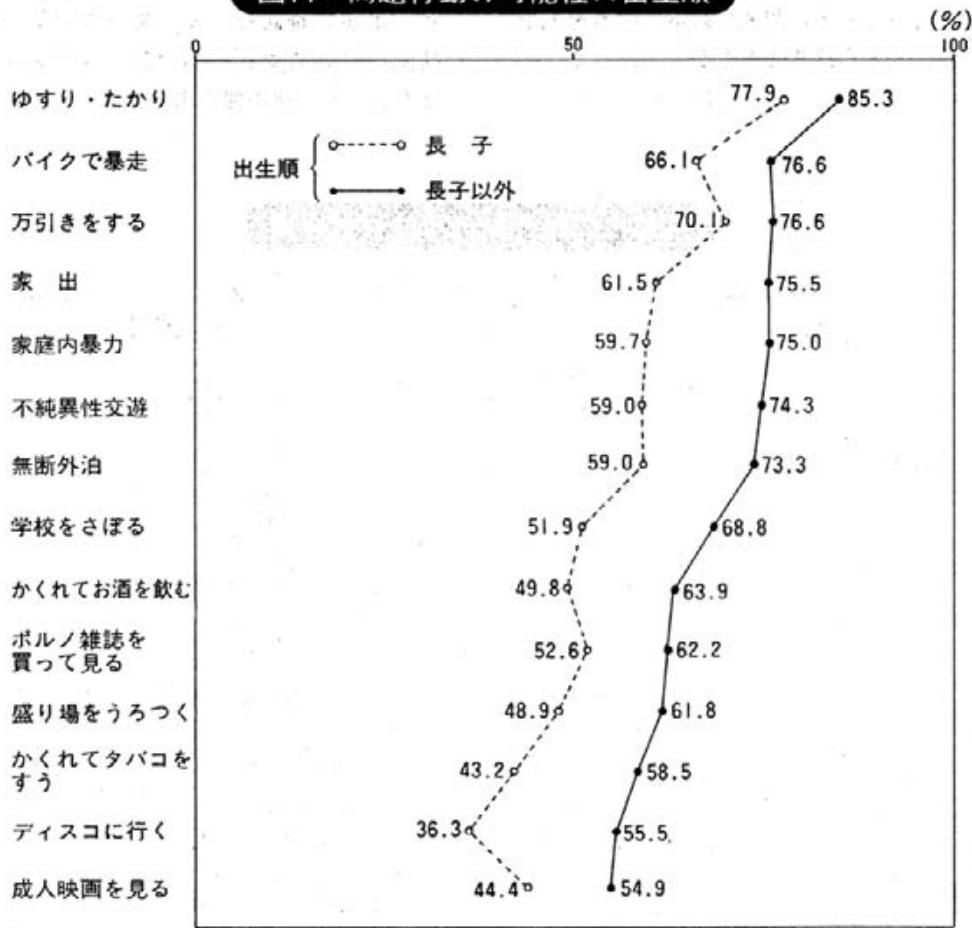
る点である。つまり、いわばこれらの青年期的な逸脱行為に対しては、学力の高い層に懸念が持たれ、非行の名にふさわしい行為については低学力層に懸念が持たれていると言えるだろう。

次に図14は、出生順との関係で、第1子とそれ以外を分けてみた。図が示すように、全体としては第1子についての方が、より多く懸念が持たれている。はじめての子どもは、

何かにつけて育児の自信がないまま対応がされるのだろうが、この問題行動の可能性についてもそれがよく表れている。

図15は、母親の学歴との関連を見たものである。おもしろいことに「全く思わない」割合は、大卒の母親に低く、高学歴の方が逸脱行動への懸念を持っている。中卒と高卒ではそれほど数字に差がない。これは高学歴の母親がそうでない母親よりも、自分の子どもを一

図14・問題行動の可能性×出生順



注) 全く思わない割合

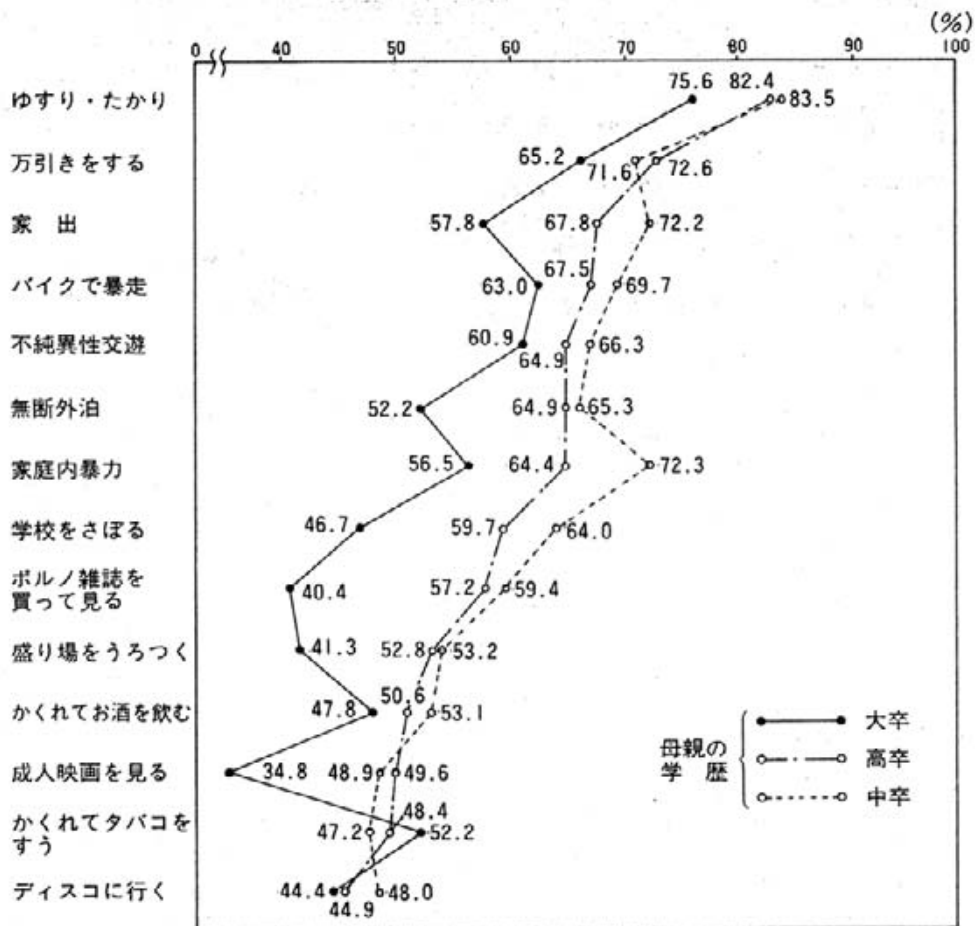
つの社会的文脈の中でとらえようとする態度を持つことを意味していそうである。その差はとくに、「成人映画、ポルノ雑誌、怠学、家庭内暴力」などの必ずしも非行行為でなく、青年特有の一般規範からの逸脱の意味を持った行為において、大きく表れている。

このことはさきに見た(図11)子どもが一般的な意味で非行化する可能性においては特に学歴との関連がなかった点と結びつく(ちな

みに非行化の可能性を全く否定するのは、母親の場合、大卒38%、高卒41%、中卒38%)。高学歴の母親の場合、自分の子どもが非行化する可能性は予期していないが、青年期的な逸脱行為に走る可能性は、かなり予期している、と言えそうである。

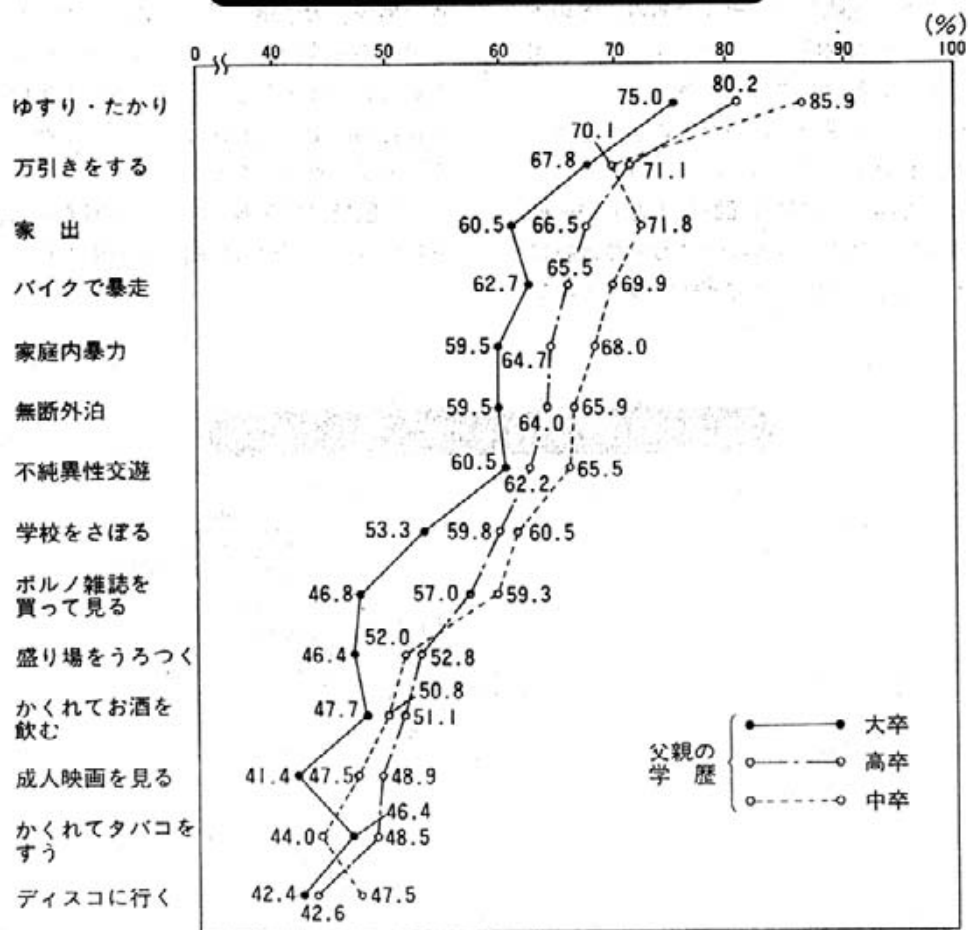
また図16には父親の学歴との関連を示した。母親の場合と同様の傾向が見い出される。

図15・問題行動の可能性×母親の学歴



注) 全く思わない割合

図16・問題行動の可能性×父親の学歴



注) 全く思わない割合

3. 非行が起きたら



さて、もし万一子どもが非行と呼ばれるような行為に走ったら、親たちはどう対応するつもりなのだろうか。むろん仮定のレベルと、実際にその行為が生じた場合とでは、対応の仕方にも違いが出てくるであろうが、その心理的レディネスを探る意味で、仮定の質問を試してみたのが図17~20である。ここには、①おもちゃ屋から500円の品を万引きしてきたら（質問紙の表現では、黙って持ってきたらとした）、②万引きが3回くり返されたら、③友人のカバンから現金を3000円抜き取ったら、④中学生になって友人同士でタバコをすっていたら、の4場面を用意した。いずれも表現はソフトだが、幼児の場合の意味と違って、①~③はいずれも初期非行の名がつけられる行為とみてよいだろう。それらのおのおのに、どのくらい強く叱るか、誰に相談するかを尋ねてみた。

1回から3回までの万引き

まず図17は、子どもが500円の品物（オモチャ）を万引きした場合である。「体罰をして強く叱る、かなり強く叱る、わりと強く叱る（あまり強くは叱らない）、話してきかせる」の4つのレベルを選択させると、「体罰も含めてかなり強く叱る」親は57%に過ぎず、「わりと強く叱るかあまり強くは叱らない」親が17%、「話してきかせる」だけの親が、26%もいる。たとえ500円と金額は少なくても、万引きは万引き、立派な初期非行であり、この段階でくい止めないと、ズルズルと非行が深まっていく可能性があるという自覚が、

親に欠けているのではないか。こうした行為に対して、子どもたちの非行感覚が甘くなっている傾向が指摘されるが、その傾向はどうやら親の方にもありそうである。

またこの段階での相談相手は、家族以外では担任が1位だが、数字としてはわずか38%。まだ家庭内で処理されようとしている段階の行為とみなされているのだろう。

次に図18は、「その万引きがくり返されて3回になった時」を仮定させたものである。

まず「かなり強く叱る」親は1回の時の57%が75%とさすがに増えている。しかしこの段

図17・子どもが500円のオモチャを万引きしたら

叱るか	(%)			
	体罰で叱る	かなり強く叱る	わりと強く叱る	話してきかせる
叱るか	24.7	31.9	17.1	26.3
担任に相談	絶対相談する	たぶん相談する	どちらともいえない	たぶん相談しない
	9.6	28.5	27.5	30.4
親せきに相談	6.8	19.6	18.6	41.7
友人に相談	11.5	15.5	45.0	26.0
教育相談所に相談	5.1	24.6	51.4	16.5

2.4

図18・子どもが3回万引きしたら

叱るか	(%)			
	体罰で叱る	かなり強く叱る	わりと強く叱る	話してきかせる
叱るか	47.1	28.2	8.4	16.3
担任に相談	絶対相談する	たぶん相談する	どちらともいえない	たぶん相談しない
	31.7	41.0	15.4	8.9
親せきに相談	16.7	30.7	19.3	23.8
友人に相談	5.8	13.6	19.9	41.6
教育相談所に相談	10.8	22.7	27.4	30.5

3.0

階でもまだ強くは叱らずに、話してきかせようとするだけの親が、16%もいることに注目しよう。わりとしか強く叱らない親も含めると25%。この甘い親たちは、特に学歴や出生順との関連をとって見ても、傾向が見い出せない。こうした親の甘さは、本人たちも任じているようで、作表はしなかったが、さきに図8に示した甘い親と自分を認めている母親は、叱り方も弱い度合いに止まっている傾向があった。

こうした場合の相談相手は、何といっても

担任であるらしい。万引きが1回の時38%だった数字が73%へと倍増している。しかしこの段階になっても、担任には相談しないとす、いわば担任不信組も12%いることに留意したい。また教育相談所を利用しようとする者は、1回の時の8%が34%と、これまた大きな増加率である。しかし数字の上では飛躍的な増加率と言っても、この段階ですら39%は「教育相談所には相談しない」と答えている。専門機関のはずがどうしてこうも敬遠されるのだろうか。

窃盗と喫煙

次は図19は「友人のカバンから3000円盗んだら」、であるが、この数字は、3回の万引きと似た傾向を示す。また図20は喫煙に対する態度であるが、これは500円の万引きよりも、ある意味ではもっと甘い判断が下されている。担任に連絡する親は51%とまあ多いが、かなり強く叱る親は、万引きの場合より少なく41%に過ぎない。悪いことを話してきかせるだけの親が44%にも達している。校内暴力のケースで、生徒の喫煙を教師も親も黙認している状況がしばしば報告されているが、こうした風潮は社会的なものなのだろうか。

これらの結果をまとめて見たのが表1であ

る。500円の万引きから順次叱り方の度合いは強まっているものの、喫煙に関しては、一番叱り方が弱くなっていることがこの表でよく見てとれる。

また表2は、非行の深さと相談相手をまとめて見たものである。どの場合でも担任教師が一番の相談相手に選ばれていることがわかる。担任が果たして親たちのこうした心情にこたえて、非行に対する適切な指導助言を与えるだけの専門的力量と心情を持っているかどうか、考えてみなければならぬだろう。また、いずれの場合でも教育相談所の利用率が親せきよりも低いことは、機関に対する信頼

図19・子どもが3000円盗んだら

叱るか	(%)				
	体罰で叱る	かなり強く叱る	わりと強く叱る	話してきかせる	
叱るか	43.8	35.8	8.2	12.2	
担任に相談	絶対相談する		たぶん相談する		絶対相談しない
	34.4		41.5		
親せきに相談	絶対相談する		たぶん相談する		絶対相談しない
	16.2		23.5		
友人に相談	絶対相談する		たぶん相談する		絶対相談しない
	5.3		40.1		
教育相談所に相談	絶対相談する		たぶん相談する		絶対相談しない
	10.8		30.2		

図20・子どもがタバコをすっていたら

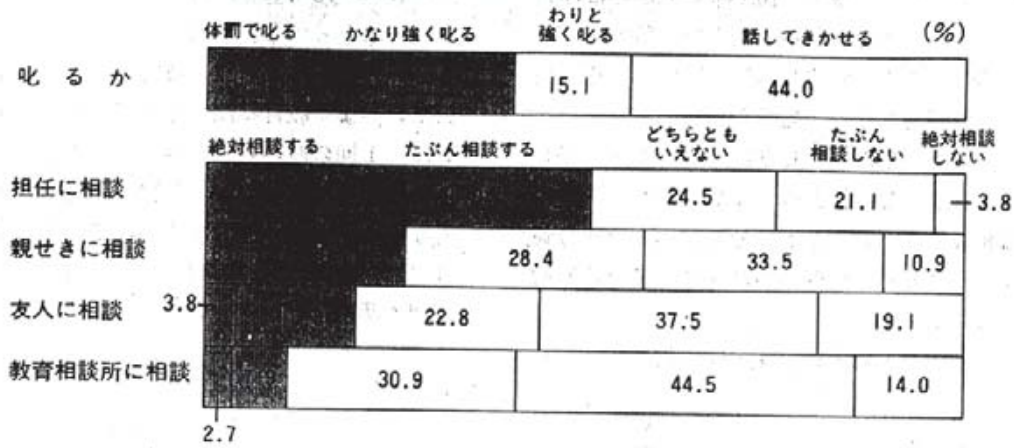


表1・非行の程度と叱り方

(%)

叱り方	非行の程度	非行の程度			
		500円のオモチャを万引き	万引きを3回	3000円盗む	タバコをすう
体罰で叱る・かなり強く叱る		56.6	75.3	79.6	40.9
わりと強く叱る		17.1	8.4	8.2	15.1
話しをかかせる		26.3	16.3	12.2	44.0

表2・非行の程度と相談相手

(%)

相談相手	非行の程度	非行の程度			
		500円のオモチャを万引き	万引きを3回	3000円盗む	タバコをすう
担任に相談		38.1	72.7	75.9	50.6
親せきに相談		26.4	47.4	41.4	27.2
友人に相談		13.5	19.4	18.3	20.6
教育相談所に相談		7.5	33.5	29.1	13.6

注) 絶対+たぶん相談する割合

感がない、または利用できる場所がないなどの理由からだろうが、改めて考えてみなけれ

ばならない問題と思われる。

まとめに代えて

きちんとした相談相手がない親たち

図21は、子どもが「かなりの程度の非行をした時」という設定で、相談相手を見たものである。すでに具体的な行為について見てきたように、まず夫、そして次に担任、自分の父母、きょうだいとつづく。教育相談所はむしろのこと、教師でも担任を離れてまでまだつきあいがあつたり、信頼関係を持ちつづけているケースは意外に少ないことがわかる。

この図が示すのは、親たちが意外にきちんとした相談相手を持っていないことである。

夫、父母、きょうだいなどはいずれも非行の相談相手としては、しろうとに過ぎない。担任との間にも信頼関係が結ばれていなかったり、臨床的とり扱いの専門家としての力量がなかったりした場合、問題に対して適切な方策を持たぬまま、いたずらに日を重ね、または問題を深めてしまう可能性は、十分考えられるところである。したがって、これからの学校では、何よりもまず担任をはじめとするすべての教師が、教育相談や生徒指導に対

図21・子どもが非行をした時の相談相手

	相談相手に対する評価 (%)			
	全く相談する	たぶん相談する	半分半分	たぶん相談しない 絶対
夫	11.5	5.4	2.4	0.7
担任教師	4.1	38.9	11.9	8.1
母	35.1	27.0	18.1	19.8
父	30.9	23.5	21.6	24.6
兄弟姉妹	22.4	31.5	22.9	23.2
教育相談所	8.4	22.7	26.4	42.5
校長先生	8.0	13.4	23.7	54.9
友人	5.9	15.3	31.4	47.4
兄弟以外の親せき	4.3	7.6	15.8	72.3
その他の教師	2.7	4.7	15.9	76.7
以前の担任	2.6	10.8	26.1	60.5

する専門的能力を持つこと、それを日常の実践ではむろんのこと、各種の研修の機会を与えられて、学んでいくことが必要と思われる。さらにこれは、教員養成大学のカリキュラム編成についても、見直しが必要と見なければならぬことを示すデータでもあろう。また、利用しやすい教育相談所を設け、PRし、一般の人々の間に専門機関への信頼感を育てることも大切なことであろう。

次に相談相手と母親の学歴との関連を見ようとしたのが、表3である。アンダーラインは数字の小さい部分につけてある。おもしろいのは、大卒に、身うち依存率（父母、きよ

うだい、その他の親せき）と、担任依存率が低く、代わってやや教育相談所への信頼感が高いことであろう。自分たちが一応の専門教育を受けてきたため、他領域における専門家の能力への信頼感もまた高い、と言っているかもしれない。しかしそうだとすると、高学歴の母親たちは、担任の相談能力に信頼をおいていない、とも言えそうである。いずれにせよ、子どもが非行化した時に、早期に問題解決をはかるために、適切な相談助言のできる人や機関を、すべての母親と子どもたちの周辺に配置しておくことが、今後教育現場における一層の課題となるであろう。

表3・相談相手×学歴

(%)

相談相手	学 歴	中 卒	高 卒	大 卒
夫		98.1	97.9	100.0
担任		86.3	79.3	<u>73.9</u>
母		61.1	66.3	<u>55.0</u>
父		51.5	57.1	<u>45.4</u>
きょうだい		56.2	59.0	<u>43.2</u>
教育相談所		<u>28.6</u>	31.1	36.4
校長		26.0	<u>16.7</u>	25.0
友人		<u>21.2</u>	<u>20.2</u>	27.9
その他の親せき		15.0	<u>11.6</u>	<u>11.9</u>
その他の教師		9.9	<u>5.1</u>	13.5
以前の担任		15.3	<u>12.7</u>	17.1

注) すぐ相談する+たぶん相談する割合

学級王国

放送大学教授 深谷昌志

学級王国の文化

「小学校の竹組というのは男の子と女の子が半分ずつだった。ぼくは男だけの松組で、4つ年上の姉は竹組にいれられ、女だけの梅組でなかった。だいたい百三十人ぐらいが一年生の生徒数で男の子と女の子がほぼ半分ずつだったから、……女っぽい男の子と男っぽい女の子とは竹組回しになるのだった」(植草甚一『植草甚一自伝』晶文社)

実際に、男女組に配置する子どもを、このような基準で選んだかどうかは疑問だが、いずれにせよ、小学校へ入学すると、子どもたちは学級に入る。そして、当然のことながら

「四年生は、梅組と藤組に分かれていて、梅に入れられた。担任の先生は近藤先生といい、丸坊主の頭にひきしまった顔付きをした、きびしそうな先生だった」(鈴木忠五『幼時追憶記』谷沢書房)

のように、学級には担任がつく。

そうした意味では、学級は、担任の指導のもとに、同じ年齢の子どもたちが教育を受ける単位であろう。しかし、それと同時に、学級は「おなじクラスで一年生から四年生ぐらいまで、いっしょの教室にいと、結束のかたい小グループがいくつかできる。私たちのクラスもそうだった。成績一番の鯨井孝一郎を中心にする優等生とそれに準ずる成績の良い者が、なんとなく一グループを作っていて、私もその仲間だった」(加太こうじ『少年画家ひとり町に行く』ポプラ社)のとおり、子どもたちが群れをなして、友だちづき合いをする単位でもある。

つまり、学級は、教師——児童の縦の関係で結ばれた学習集団であると同時に、児童相互の横の関係から成立する仲間集団の性格をも備えている。

考えてみると、学校という組織は、学級を単位に成り立っており、見方を変えると、学級の寄せ集まりが、学校となる。

そして、小西健二郎の『学級革命』や土田哉範の『村の一年生』、東井義雄の『村を育てる学力』などの定評のある優れた実践記録を読むと、教師たちは、子どもたちの持つ仲間集団的な横の関係を活用して、学習を深める試みを行っている。そうした形で、実践記録を残さないまでも、クラスの歌や学級の旗などを作って、学級に対する子どもたちの帰属意識を高め、集団をとおしての教育に成功している教師も少なくない。

こうした場合、教師は学級を統率するカリスマ的なリーダーで、子どもたちは、リーダーに従う学級王国の住民となる。

学級のルーツ

しかし、歴史的なルーツを探ると、日本の場合でも、明治初年には、年齢でなく、学力によって、子どもの所属を決める等級制がとられていたのがわかる。つまり、半年を単位として、「毎級ノ諸課ハ必ず同一ニ習熟セシメ勉メテ同時ニ同級ヲ終ヘシムベシ」を目的に、「級」を作り、試験の結果により、進級させる制度である。

しかし、一校当たりの児童数が少ない時代のことゆえ、厳密な意味で、等級制を導入し、各級に教師を配置すると、数名の子どもに教

師が1人という状況が生じる。もちろん、教育財政のひっ迫している時代のことゆえ、そうした少人数学習ができるわけもなく、実際には、1人の教師が何級かを担当する合級制がとられることが多かった。とは言え、1人の教師が、進度のことなるいくつかの学級を同時に指導するのは難しく、「甲級生徒ヲ教授スルトキハ乙級生徒ハ徒ニ其終リヲ待ツモノ多シ」(学事巡視功程、『文部省第十年報』宮城県)「他級ヲ教フル間、生徒ノ喧雜ヲ防クカ為メニ妄リニ多クノ習字ヲ課スルカ如キモノアル」(前述、和歌山)のような授業風景が出現しがちであった。そうした反省から、等級制を廃止して1年を単位とし、同一年齢の子どもから構成される学級の考え方が台頭することになる。

例えば、明治18年、文部省は「課業ノ階級」としての等級(グレード)に代わって、「授業ノ組合ハ教員及生徒ノ数ニ応シ相当之ヲ定ムベシ」のように、「授業ノ組合」という意味を持った学級制の導入を指示している。

なお、当時の学級サイズは、尋常小学校の



場合、

1 全校児童ノ数七十人未満ナルトキハ之ヲ一学級ニ編制スベシ

2 全校児童ノ数七十人以上百四十人未満ナルトキハ之ヲ二学級ニ編制スベシ。但七十人以上百人未満ナルトキハ之ヲ一学級ニ編制スルコトヲ得

3 全校児童ノ数百四十人以上ナルトキハ一学級児童ノ数平均凡五十人及七十人ノ割合ヲ以テ適宜学級ヲ編制スベシ

4 同学年ノ女児ノ数一学級ヲ組織スルニ足ルトキハ該学年ノ男女学級ヲ別ツベシ、但第一学年及第二学年ニ於テハ此限ニ在ラズ

(明治24年、学級編制等ニ関スル規則)

のとおり、たてまえの上では、70人以上100人未満が、学級の単位であった。

学級制の短所

こうした学級の成立は、集団教育の場を用意するというような教育的な配慮とは別に、本質的には、一定量の知識を大量の子どもたちに能率よく伝達する手段としての経済効率を踏まえたものであった。

特に、日本の近代化の中で、学校は西欧の知識を大量の対象に効果的に伝達するという宿命を背負って出発したので、学級制の導入は、そうした学校の状況に対応するものでもあった。というより、学級は、学校に課せられた使命を遂行するのを可能にした精巧な装置であったとも言えよう。

そうした意味で学級が果たしてきた歴史的な功績を否定するつもりはない。しかし、現代になると、近代化の優等生であった学級制が、かえって、現代から未来にかけての学校作りへの足かせとなっている印象を受ける。

何故なら、学級は1人の教師が40人近い子どもたちを指導するのを基本とする。しかし、すべての子どもの長所を担任が引き出すのは至難の技に近い。単純に考えても、教師との間に、一種の相性のようなものが成り立ちう

る。しかも、困ったことに子どもたち、あるいは、親は、教師を選ぶことができず、多くの場合、2年間は、その教師とともに生活を送っていかねばならない。

さらに言えば、学級は、担任を除くと、おとなの入ることのまれな密室社会を構成している。他の教師たちは、それぞれの学級で授業を担当しているし、校長も、よほどのことがない限り、学級に顔を出さない。しかも、子どもたちの声は学級外にもれにくいので、担任は、ともすると、

リリパット(小人国)に住むガリバーとなりやすい。

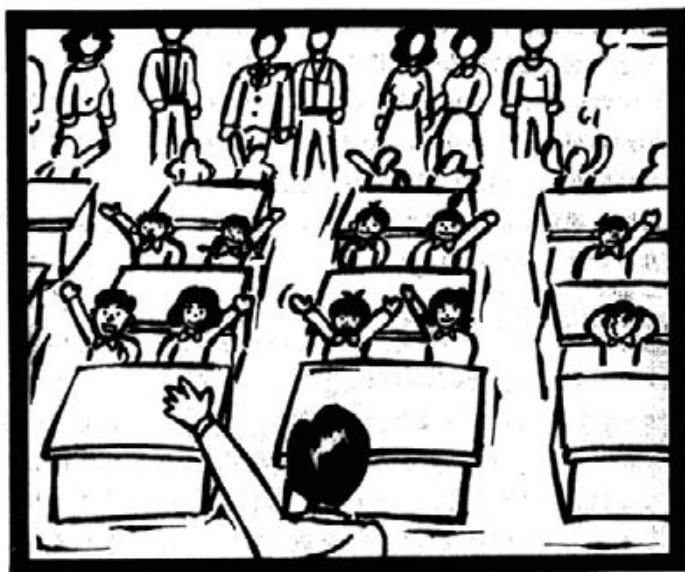
そうした王国も、学期に1回程度の授業参観や公開研究会などの折りに、外部に公開されるが、それは、所詮、よそゆきの顔に過ぎない。

そうした意味では、学級という制度は担任の全能性や良識を前提として成り立っている。それだけに、仮りに担任が良識を欠くと、担任についての歯止めがないだけに、学級は、専制君主に支配された王国になりやすい。

それだけに、教育の歴史をたどると、教育をめぐる条件が改善されるにつれて、学級の枠をゆるめると同時に、学級のサイズを縮小させる傾向が顕著である。

日本でも、ひところ、40人学級をめぐる論議がさかんになったが、学級のサイズが問題にされた割りに、学級の枠をゆるめる論議は表面化しなかったように思える。

学級を単位として授業を展開する場合、ややもすると、子どもを集団として扱いがちになる。すでに触れたように、学級の持つ効率のよさを否定するつもりはないが、そうした反面、子どもたちの個性を伸ばしにくいというらみが残る。そして、現在の学校が問われている



のはまさに子どもたちの個性にどう対応していくかの問題であろう。

学校は、栄養は豊富で、バランスのよくとれた定食しか用意していない。そのため、アラカルトを求める気持ちが、けいごことや学習塾通いとなって表れるという見方もある。それだけに、学級王国のあり方に疑問を感じ学級の枠をゆるめる方策が望まれよう。

アメリカのオープン・スクール

アメリカの学校を訪ねると、学級の姿が、日本とあまりに違うので驚くことが多い。一例をあげてみよう。

「クラスが一斉に算数なら算数をやるというやり方ではなく、各人が自分のペースでやるのである。そのため、同じ程度と思われる子供を3人とか4人のグループにしてあり、めいめいにワークを与えておく」(ザ・クリエイティブ編『世界の小学校で』白馬書店)というだけでは、日本の学級で目にする多くのグループ学習のように思える。しかし、

「進み方の速い子供はどんどん先へ進んでゆき、おそい子供はゆっくりと自分のペースで進んでゆく。そのため、加えて十までになるたし算でウンウン言っている子供もいれば、

三桁のたし算をスイスイとやっている子供もいるということになる」に接すると、アメリカの学習システムが単なるグループ学習でないのがわかる。というのは、日本の場合、グループに分かれて学習している時でも、それぞれに同じ課題に取り組んでいるのに対し、アメリカでは、課題そのものが、グループによって異なってくる。

もちろん、ひとくちにアメリカといっても、アメリカらしさを要約できないところがアメリカの特色と言われるほど、アメリカの教育は多様である。当然、教室の雰囲気にもさまざまなスタイルがあるが、それでも、「小学4、5年生になると前年度のデータを基にして、クラス編成の段階で優秀な子どもを集めたクラスをつくる。5年生の場合、6年生との混合クラスをつくることもある。

こうして編成されたクラスの中でも、さらに学科によって能力別にグループをつくる。たとえば、算数は4グループに分かれ、グループごとに異なったテキストを使う。次のリーディングの時間には、また別のグループに行



くという具合である。つまり、毎時間、席もグループのメンバーも違う」(高島哲夫『アメリカの学校生活』文化出版社)のような教室風景に接することが多い。

子どもたちは、一応、クラスに所属する。しかし、学級は本籍のようなもので、本籍地にいることはまれで、子どもたちは時間帯ごとに、それぞれの組み合わせに従って、現住所を構えるという感じになる。

こうした学習の個別化やグループ化を可能にしているひとつの要因は、「半円形の大教室は、円周の壁に沿って、そうした、丸いケーキを切り分けるのに似て、扇形に小分けされていたのである。おのおのの扇形の区域には、右から左に、アラビア数字で番号がついていて、壁に表示されている。12まで読めた。

改めてよく眺めると、それぞれ、壁に取り付けられた黒板に向かって、二十くらいの机つき椅子が並び、生徒が座っている。これが、どうやら一クラスらしい」(飯泉美耶子『ニューヨーク郊外の学校で』朝日ソノラマ)のような柔軟性に富んだ学校の構造であろう。

周知のように日本の学校建築は、明治以来、法的基準を満たす形で作られてきている。すでに、明治24年の小学校設備準則の中に

第三条 校舎はなるべく平屋造なるを要す

第四条 各教室の大きさは其内に入るべき机並坐席の数、大き及配置方等に応じて之を定め生徒四人に付凡一坪より小なるべからず

第五条 校舎は生徒の帽子、傘、雨衣、足駄等を置くべき場所を備うるを要す

などの規定がみられるが、その後も、それぞれの時期に、学校建築の基準が作られ、現在に至っている。

さすがに近年、新しい感覚を盛り込んだ校舎が目につくようになってはいるが、それでも、教室を単位として、校舎が作られている状況に変わりはない。

しかも、講堂や理科などの特別教室を除くと、各教室のサイズは一定しているので、そ

うした建築上の制約から考えても、学級を解体し、柔軟な形で、少人数を単位とした学習を展開するのは不可能に近い。

新教育運動との関係

もちろん、アメリカでも、オープン・スクールやノン・グレード(無学年)スクールについての批判は少なくない。特に、少人数を単位とした学習は、集団ごとに指導者が必要となるし、その上、教材が多様になるので、教育コストが高くつくという批判が強まっている。中でも、カリフォルニア州から端を発した提案13号により、小さな政府を求める動きが顕著となり、その結果、オープン・スクールは、コストの割りに成果が上がらないとの反省もみられる。

また、学級があまりに細分化された結果、教師の目が行き届かなくなり、学力が低下したという見方もある。したがって、80年代に入って、学級制へ復帰する気運が見受けられる。

しかし、そうは言うものの、学習は、本質的に、子どもたち1人ひとりの個性に対応して行われるものという考え方が定着しているので、日本でイメージする学級とは、かなり具体的な姿が違ってくる。

もともと、学級を解体しようとする動きは、新教育運動が展開されるたびに、くり返し主張されてきている。日本でも、いわゆる大正自由教育の中に、手塚岸衛の自由教育、及川平治の動的教育論をはじめ、野口援太郎らの児童の村小学校、沢柳政太郎の成城小学校などで、小集団に着目した動きが認められる。

もちろん、日本の運動は、欧米からの影響を強く受けており、特に、パーカストH. Parkhurstのドルトン・プラン(Dalton Plan)やウォッシュバーンO. W. Washburneのウイネットカ・プランWinnetka Planをモデルに据えている場合が多い。

改めて触れるまでもなく、ドルトン・プラン

は、子どもたち1人ひとりが、教師と仕事(Job、学習の単位)を契約し、日程表に従って、実験室などで学習を進めるシステムである。

もちろん、現在からみると、ドルトン・プランは、児童中心主義に沿った楽観論にすぎると感じる。また、先に触れたアメリカのオープン・スクールについても、多くの批



判がみとめられるのは、すでに指摘したとおりである。

したがって、欧米流の学級解体を忠実に受けつぐ必要はないが、それにしても、日本の学級王国の壁が硬すぎるのも事実であろう。週の中の何時間、あるいは、一日の1~2時間ぐらい、学級の枠をゆるめ、子どもたちの個性に対応する学校運営が試みられてよいのではと思う。古きを尋ねて、新しきを知るといふ言い方もある。残念ながら、学級王国的な考え方は、歴史的な使命を終え、脱皮を迫られているように思われてならない。

調査のお願い

- ① (1) この用紙をお持ち帰りになったお子さまの、学年、性別をお教えてください。

() 年、 (男、女)

- (2) あなたの家庭は、何人家族ですか。

() 人

- ② (1) 子ども部屋は、どうなっていますか。

1. 1人だけの子ども部屋
2. 兄弟姉妹と同室の子ども部屋
3. 特に子ども部屋は与えていない

- (2) では、お子さまの勉強している部屋にTVがありますか。

1. ある 2. ない

- ③ お子さまへのしつけは、ご両親のどちらがなさっていますか。

ほとんど 母親	どちらかという 母親	父・母 同じように	どちらかという 父親	ほとんど 父親
1	2	3	4	5

- ④ (1) 「おとうさん」は、大まかにいって、どんなタイプですか。

ア			イ		
とても	やや	どちらでも ない	やや	とても	

ア. 甘くて、やさしい…… 1 — 2 — 3 — 4 — 5 …… イ. こわくて厳しい

わりと子どもと話
ア. したり、遊んだり…… 1 — 2 — 3 — 4 — 5 …… イ. 忙しくて子ども
する機会が多い ときあまり接触で
きない

- (2) では、「おかあさん」は、大まかにいってどんなタイプですか。

ア			イ		
とても	やや	どちらでも ない	やや	とても	

ア. 甘くてやさしい…… 1 — 2 — 3 — 4 — 5 …… イ. こわくて厳しい

わりと子どもと話
ア. したり、遊んだり…… 1 — 2 — 3 — 4 — 5 …… イ. 忙しくて子ども
する機会が多い ときあまり接触で
きない

- (3) 料理の献立を立てるときに、あなたの気持ちに近いほうに○をつけてください。

ア			イ		
とても そう思う	まあ そう思う	どちらでも ない	まあ そう思う	とても そう思う	

ア. おとうさんは一番
聞いてくれるのか…… 1 — 2 — 3 — 4 — 5 …… イ. 子どもは育ちざかりなのだ
から、たくさん食べられる
ようになりたい子どもの食
べたいものをつくる

⑤ この用紙をお持ち帰りになったあなたのお子さまは、将来、ひょっとすると、万に一つでも、次のようなことをする **可能性** があると思われますか。

- | | 〈可能性があると〉とても
思う | かなり
思う | 少し
思う | あまり
思わない | まったく
思わない |
|------------------|--------------------|-----------|----------|-------------|--------------|
| 1. かくれて、たばこをすう… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. かくれて、お酒を飲む… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 盛り場を、うろつく… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. ディスコに行く… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 学校をさぼる… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. バイクで暴走する… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. 家庭内暴力をひきおこす… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 万引きをする… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. 押すり、たかり… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. ポルノ雑誌を買って見る… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11. 成人映画を見る… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 12. 不純異性交遊… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 13. 無断外泊… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 14. 家出をする… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

⑥ (1) 全くの仮定ですがもし、お子さまが、今おもちゃ屋さんから 500 円位のおもちゃを黙って持ってきたら、あなたはどうしますか。

- | | 体罰をして
非常に強く
叱る | かなり強く
叱る (体罰
はしない) | わりと強く
叱る (体罰
はしない) | おだやかに
悪いという
ことを話し
て聞かせる | |
|-----------------------------------|----------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------------------|--------------------|
| イ. 叱りますか… | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ロ. 担任の先生に相談
しますか | 絶対
相談する
……1 | たぶん
相談する
……2 | どちらとも
いえない
……3 | たぶん
相談しない
……4 | 絶対
相談しない
……5 |
| ハ. 親せき (あなた
の両親や兄弟)
に相談しますか | 絶対
相談する
……1 | たぶん
相談する
……2 | どちらとも
いえない
……3 | たぶん
相談しない
……4 | 絶対
相談しない
……5 |
| ニ. 教育相談所など
に相談しますか | 絶対
相談する
……1 | たぶん
相談する
……2 | どちらとも
いえない
……3 | たぶん
相談しない
……4 | 絶対
相談しない
……5 |
| ホ. 親しい友だちの
お母さんなどに
相談しますか | 絶対
相談する
……1 | たぶん
相談する
……2 | どちらとも
いえない
……3 | たぶん
相談しない
……4 | 絶対
相談しない
……5 |

(2) では、そのおもちゃやおかしの万引きが、もし3回もくり返され金額もふえてきたら、あなたはどうしますか。

- | | 体罰をして
非常に強く
叱る | かなり強く
叱る (体罰
はしない) | わりと強く
叱る (体罰
はしない) | おだやかに
悪いという
ことを話し
て聞かせる | |
|-----------------------------------|----------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------------------|--------------------|
| イ. 叱りますか… | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ロ. 担任の先生に相談
しますか | 絶対
相談する
……1 | たぶん
相談する
……2 | どちらとも
いえない
……3 | たぶん
相談しない
……4 | 絶対
相談しない
……5 |
| ハ. 親せき (あなた
の両親や兄弟)
に相談しますか | ……1 | ……2 | ……3 | ……4 | ……5 |
| ニ. 教育相談所など
に相談しますか | ……1 | ……2 | ……3 | ……4 | ……5 |
| ホ. 親しい友だちの
お母さんなどに
相談しますか | ……1 | ……2 | ……3 | ……4 | ……5 |

(3) では、もし万一お子さまが、友人のカバンの中から3,000円ほどとって、おもちゃやおかしを買ったことがわかったらあなたはどうしますか。

	体調を 非常に 強く 吃る	かなり 強く 吃る (体調 はしない)	わりと 強く 吃る (体調 はしない)	おだやかに 悪いという ことを踏し て聞かせる
イ. 吃りますか	1	2	3	4

	絶対 相談する	たぶん 相談する	どちらとも いえない	たぶん 相談しない	絶対 相談しない
ロ. 担任の先生に相談しますか	1	2	3	4	5

ハ. 親せき(あなたの両親や兄弟)に相談しますか

ニ. 教育相談所などに相談しますか

ホ. 親しい友だちのお母さんなどに相談しますか

(4) 将来「中学生になったお子さま」が、友だちどうしてタバコをすっているのをみつけたら、どうすると思いますか。

	体調を 非常に 強く 吃る	かなり 強く 吃る (体調 はしない)	わりと 強く 吃る (体調 はしない)	おだやかに 悪いという ことを踏し て聞かせる
イ. 吃りますか	1	2	3	4

	絶対 相談する	たぶん 相談する	どちらとも いえない	たぶん 相談しない	絶対 相談しない
ロ. 担任の先生に相談しますか	1	2	3	4	5

ハ. 親せき(あなたの両親や兄弟)に相談しますか

ニ. 教育相談所などに相談しますか

ホ. 親しい友だちのお母さんなどに相談しますか

☑ あなたは、もしお子さまが「かなりの程度の非行」をしたとして親身になってくれる相談相手をもっていますか。

(いずれも、ご存命でない場合は、番号の上に×をつけて、答えなくてけっこうです。)

	すぐ 相談する	たぶん 相談する	半分 半分	たぶん 相談しない	絶対 相談しない
1. あなたのご主人	1	2	3	4	5
2. あなたのおかあさん	1	2	3	4	5
3. あなたのおとうさん	1	2	3	4	5
4. あなたの兄弟姉妹	1	2	3	4	5
5. 1～4以外の親せき	1	2	3	4	5
6. 校長先生	1	2	3	4	5
7. 今の担任の先生	1	2	3	4	5
8. 以前の担任の先生	1	2	3	4	5

1又は2(すぐ・たぶん相談する)と答えられた方、
何年生の時の担任の先生ですか ()年

9. 校長・担任以外の先生……1——2——3——4——5

1又は2(すぐ・たぶん相談する)と答えた方、それはどういう先生ですか

()

10. 教育相談所……1——2——3——4——5

11. あなたの友人……1——2——3——4——5

1又は2と答えた方、それはどういう関係の友人ですか

()

⑧ あなたは日頃、家庭やお子さまのことを誰によく相談していますか。
(ご存命でない時は×をつけてください)

1. あなたのご主人……1——2——3——4——5

2. あなたのおかあさん……1——2——3——4——5

3. あなたのおとうさん……1——2——3——4——5

4. あなたの兄弟姉妹……1——2——3——4——5

5. 2～4以外の親せき……1——2——3——4——5

6. 雑誌、テレホン相談……1——2——3——4——5

7. あなたの友人……1——2——3——4——5

8. その他……1——2——3——4——5

※1又は2と答えた方、それは誰ですか

()

⑨ あなたのお子さまは、将来、非行少年・少女になる可能性が少しでもあると思われるか。

とてもある かなりある 少しある あまりない まったくない
1——2——3——4——5

⑩ もし、よろしかったら、あなたとご主人の最終学歴をお教えてください。

1. あなた 1. 中学卒 2. 高校卒 3. 短大卒
4. 大学卒 5. その他

2. ご主人 1. 中学卒 2. 高校卒 3. 短大卒
4. 大学卒 5. その他

⑪ あなたのお仕事をお教えてください。

1. 主婦 4. 家業(お店・工場)を手伝っている
2. パートで働いている 5. その他
3. フルタイムで働いている

⑫ あなたのお子さまの成績はクラスでおよそどの位ですか。

上の方 中の上位 中位 中よりやや下 かなり下の方
1——2——3——4——5

⑬ この用紙をお持ちになったあなたのお子さまは、お子さまの中で上から何番目ですか。

1. 1番上 3. 3番目
2. 2番目 4. 4番目以下

これで終わりです。いろいろとご協力ありがとうございました。

単位：サンプル数以外はパーセント

		サンプル数	942	487	455	202	333	407	
	2人		0.6	1.5	0.2	1.0	0.9	0.2	
	3人		8.7	8.0	9.5	6.9	8.7	9.6	
	4人		43.9	44.7	42.8	44.5	47.8	40.3	
	5人		26.8	26.3	27.2	30.2	22.5	28.5	
	6人		13.5	13.4	13.7	12.9	12.3	14.8	
	7人		5.5	5.8	5.3	4.0	6.3	5.7	
	8人以上		1.0	0.8	1.3	0.5	1.5	0.9	
	1. 1人だけの子ども部屋		31.6	31.8	31.3	20.3	31.2	37.7	
	2. 兄弟姉妹と同室の子ども部屋		43.3	40.5	46.3	46.0	44.9	40.6	
	3. 特に子ども部屋は与えていない		25.1	27.7	22.4	33.7	23.9	21.7	
③ 子どもの部屋	1. あり		27.8	27.9	27.6	26.7	27.2	27.9	
	2. なし		72.2	72.1	72.4	73.3	72.8	72.1	
	④ 父親のタイプ	1. ほとんど母親		18.0	17.9	18.0	18.8	17.2	18.3
		2. どちらかという母親		39.1	36.2	42.2	37.6	40.5	38.6
		3. 父、母同様に		41.1	44.5	37.5	42.1	40.2	41.3
4. どちらかという父親			1.2	0.8	1.6	1.0	1.5	1.0	
5. ほとんど父親			0.6	0.6	0.7	0.5	0.6	0.8	
① 厳しさ	1. とても甘くて、やさしい		6.9	5.6	8.3	8.8	7.8	5.2	
	2. やや甘くて、やさしい		34.7	30.4	39.3	34.3	36.0	33.9	
	3. どちらでもない		32.8	34.5	31.1	33.1	31.0	34.1	
	4. ややこわくて厳しい		22.4	24.8	19.8	22.7	21.9	22.7	
	5. とてもこわくて厳しい		3.2	4.7	1.5	1.1	3.3	4.1	
	② 子どもの接触頻度	1. とても子どもと話したり遊んだりする機会が多い		14.9	16.2	13.5	14.8	18.1	12.4
		2. やや子どもと話したり遊んだりする機会が多い		37.7	36.2	39.1	41.2	35.8	37.3
		3. どちらでもない		19.4	18.2	20.8	13.8	21.3	20.7
		4. やや忙しくて子どもと接触できない		18.7	20.6	16.7	20.1	17.7	18.8
		5. とても忙しくて子どもと接触できない		9.3	8.8	9.9	10.1	7.1	10.8
④ 母親のタイプ	1. とても甘くてやさしい		2.4	1.1	3.8	2.1	3.9	1.3	
	2. やや甘くてやさしい		23.3	22.4	24.2	22.3	22.1	24.6	
	3. どちらでもない		42.4	44.5	40.3	42.6	40.4	44.2	
	4. ややこわくて厳しい		28.3	28.5	28.1	28.7	31.3	25.7	
	5. とてもこわくて厳しい		3.6	3.5	3.6	4.3	2.3	4.2	
	② 子どもの接触頻度	1. とても子どもと話したり遊んだりする機会が多い		16.1	15.5	16.7	14.1	17.8	15.6
		2. やや子どもと話したり遊んだりする機会が多い		39.4	38.3	40.5	42.7	35.0	41.3
		3. どちらでもない		25.4	27.9	22.8	25.9	26.6	24.2
		4. やや忙しくて子どもと接触できない		14.9	14.4	15.3	13.0	17.8	13.5
		5. とても忙しくて子どもと接触できない		4.2	3.9	4.7	4.3	2.8	5.4
③ 献立に対する考え	1. 父親に献立を合わせるべきと、とても思う		3.8	2.7	5.0	3.2	3.9	4.0	
	2. 父親に献立を合わせるべきと、まあ思う		15.6	17.3	13.9	17.6	15.5	14.8	
	3. どちらでもない		52.1	51.5	52.8	53.7	50.3	52.7	
	4. 子どもの好みに合わせるべきと、とても思う		21.9	21.0	22.6	19.1	24.5	21.1	
	5. 子どもの好みに合わせるべきと、まあ思う		6.6	7.5	5.7	6.4	5.8	7.4	
⑤ 子どもの非行の可能性	1. <可能性がある>とても思う		0.4	0.4	0.5	0.5	0.3	0.5	
	2. かなり思う		1.6	3.2	0.0	2.0	0.9	2.0	
	3. 少し思う		16.7	29.5	3.2	17.3	18.6	14.9	
	4. あまり思わない		34.3	40.8	27.1	32.7	33.2	35.9	
	5. 全く思わない		47.0	26.1	69.2	47.5	47.0	46.7	

5. 子どもの非行化の可能性	① 暴力をふるって見せる	1. <可能性がある>とても思う	0.2	0.2	0.2	0.5	0.0	0.3	
		2. かなり思う	1.7	3.4	0.0	2.0	1.5	1.8	
		3. 少し思う	15.9	25.7	5.4	17.3	15.4	15.4	
		4. あまり思わない	32.1	38.4	25.2	29.6	32.3	33.2	
		5. 全く思わない	50.1	32.3	69.2	50.6	50.8	49.3	
		② 万引きをする	1. <可能性がある>とても思う	0.1	0.0	0.2	0.0	0.3	0.0
			2. かなり思う	1.0	1.5	0.5	1.5	0.3	1.3
			3. 少し思う	12.3	18.1	6.1	10.3	10.9	14.5
			4. あまり思わない	35.5	44.4	25.9	34.4	37.0	34.9
			5. 全く思わない	51.1	36.0	67.3	53.8	51.5	49.3
		③ たかり・買っ取	1. <可能性がある>とても思う	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.3
			2. かなり思う	1.0	1.1	0.9	1.5	0.3	1.3
			3. 少し思う	17.7	17.1	18.3	16.0	14.5	21.1
			4. あまり思わない	37.9	42.6	32.8	36.6	41.7	35.5
			5. 全く思わない	43.3	39.2	47.8	45.9	43.5	41.8
		④ ポルノ雑誌を眺めて見る	1. <可能性がある>とても思う	0.5	0.8	0.2	0.5	0.6	0.5
			2. かなり思う	0.5	0.6	0.5	0.5	0.6	0.5
			3. 少し思う	7.4	11.0	3.6	9.3	8.6	5.6
			4. あまり思わない	32.4	38.2	26.1	31.1	31.1	33.9
			5. 全く思わない	59.2	49.4	69.6	58.6	59.1	59.5
		⑤ 成人映画を見る	1. <可能性がある>とても思う	0.5	0.9	0.2	0.0	0.9	0.5
			2. かなり思う	1.3	2.1	0.5	1.0	1.2	1.5
			3. 少し思う	6.3	11.7	0.7	8.7	6.8	4.8
			4. あまり思わない	24.2	36.4	11.1	25.1	21.6	25.8
			5. 全く思わない	67.7	48.9	87.5	65.2	69.5	67.4
		⑥ 家庭内暴力を心配する	1. <可能性がある>とても思う	0.1	0.2	0.0	0.0	0.3	0.0
			2. かなり思う	0.5	1.1	0.0	0.5	0.9	0.3
			3. 少し思う	6.2	10.4	1.8	9.7	5.2	5.3
			4. あまり思わない	28.1	37.7	17.6	27.0	25.8	30.4
			5. 全く思わない	65.1	50.6	80.6	62.8	67.8	64.0
		⑦ 万引きをする	1. <可能性がある>とても思う	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			2. かなり思う	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			3. 少し思う	3.5	5.1	1.8	5.7	3.4	2.5
			4. あまり思わない	26.9	35.7	17.6	26.3	25.7	28.1
			5. 全く思わない	69.6	59.2	80.6	68.0	70.9	69.4
		⑧ たかり・買っ取	1. <可能性がある>とても思う	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			2. かなり思う	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			3. 少し思う	1.0	1.7	0.2	0.5	1.8	0.5
			4. あまり思わない	18.1	25.2	10.6	24.1	16.0	16.8
			5. 全く思わない	80.9	73.1	89.2	75.4	82.2	82.7
		⑨ ポルノ雑誌を眺めて見る	1. <可能性がある>とても思う	0.2	0.4	0.0	0.5	0.0	0.3
			2. かなり思う	1.2	2.3	0.0	1.0	1.2	1.3
			3. 少し思う	13.6	24.2	2.3	15.7	10.8	14.8
			4. あまり思わない	29.6	38.6	19.9	24.4	31.2	31.0
			5. 全く思わない	55.4	34.5	77.8	58.4	56.8	52.6
		⑩ 成人映画を見る	1. <可能性がある>とても思う	0.2	0.2	0.2	0.5	0.3	0.0
			2. かなり思う	1.3	2.4	0.2	2.6	1.6	0.5
			3. 少し思う	16.0	24.6	7.0	11.7	12.8	20.9
			4. あまり思わない	35.2	40.0	29.9	37.8	38.3	31.3
			5. 全く思わない	47.3	32.8	62.7	47.4	47.0	47.3

⑥	子どもが別円ぐらゐの品を黙って持ってきたら	ロ、相手の先生に相談する	1. <可能性があると>とても思う	0.1	0.0	0.2	0.0	0.3	0.0	
			2. かなり思う	0.2	0.4	0.0	0.0	0.3	0.3	
			3. 少し思う	3.7	5.8	1.6	4.6	3.4	3.6	
			4. あまり思わない	32.3	39.8	24.4	35.9	28.9	33.4	
			5. 全く思わない	63.7	54.0	73.8	59.5	67.1	62.7	
			ハ、親せきに相談	1. <可能性があると>とても思う	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
				2. かなり思う	0.3	0.6	0.0	0.5	0.3	0.3
				3. 少し思う	4.9	7.1	2.7	7.2	3.4	5.1
				4. あまり思わない	31.3	38.5	23.6	33.8	29.6	31.5
				5. 全く思わない	63.5	53.8	73.7	58.5	66.7	63.1
			ニ、教育相談所に相談	1. <可能性があると>とても思う	0.1	0.0	0.2	0.0	0.3	0.0
				2. かなり思う	0.3	0.4	0.2	0.0	0.3	0.5
				3. 少し思う	4.2	6.0	2.3	6.7	3.7	3.3
				4. あまり思わない	28.4	33.7	22.6	27.3	27.3	29.8
				5. 全く思わない	67.0	59.9	74.7	66.0	68.4	66.4
			ホ、親しい方々に相談	1. 体罰をして非常に強く叱る	24.7	28.3	21.0	26.0	25.7	23.3
				2. 体罰はしないでかなり強く叱る	31.9	32.0	31.4	31.7	28.4	34.7
				3. 体罰はしないでわりと強く叱る	17.1	15.6	18.8	16.8	20.5	14.5
				4. おだやかに悪いということを話して聞かせる	26.3	24.1	28.8	25.5	25.4	27.5
				5. 絶対相談する	9.6	11.0	8.1	10.4	7.9	10.6
			イ、叱る	2. たぶん相談する	28.5	28.5	28.4	26.4	27.1	30.7
				3. どちらともいえない	27.5	27.4	27.7	26.4	28.0	27.6
				4. たぶん相談しない	30.4	29.7	31.1	34.2	33.3	26.1
				5. 絶対相談しない	4.0	3.4	4.7	2.6	3.7	5.0
				1. 絶対相談する	6.8	7.4	6.3	9.2	6.4	6.0
ロ、担任の教師に相談	2. たぶん相談する	19.6	19.6	19.6	16.9	21.3	19.4			
	3. どちらともいえない	18.6	17.5	19.6	15.9	18.0	20.4			
	4. たぶん相談しない	41.7	43.1	40.3	47.7	41.8	38.8			
	5. 絶対相談しない	13.3	12.4	14.2	10.3	12.5	15.4			
	1. 絶対相談する	2.4	2.3	2.5	1.6	3.4	2.0			
(2) 万引きが3回になって金額も増えてきたら	2. たぶん相談する	5.1	4.5	5.9	3.1	4.9	6.3			
	3. どちらともいえない	24.6	24.0	25.1	24.4	23.1	26.0			
	4. たぶん相談しない	51.4	52.0	50.7	59.0	52.6	46.5			
	5. 絶対相談しない	16.5	17.2	15.8	11.9	16.0	19.2			
	1. 絶対相談する	2.0	1.9	2.0	3.6	1.2	1.8			
ロ、担任の教師に相談	2. たぶん相談する	11.5	13.3	9.7	10.8	9.8	13.4			
	3. どちらともいえない	15.5	14.0	16.9	13.4	15.2	16.7			
	4. たぶん相談しない	45.0	45.4	44.6	46.9	49.4	40.3			
	5. 絶対相談しない	26.0	25.4	26.8	25.3	24.4	27.8			
	1. 体罰をして非常に強く叱る	47.1	50.1	44.3	51.3	47.1	45.3			
ロ、担任の教師に相談	2. 体罰はしないでかなり強く叱る	28.2	24.7	31.7	21.5	30.0	29.9			
	3. 体罰はしないでわりと強く叱る	8.4	7.9	8.8	13.6	6.2	7.6			
	4. おだやかに話してきかせる	16.3	17.3	15.2	13.6	16.7	17.2			
	5. 絶対相談する	31.7	33.1	30.1	34.7	29.9	31.7			
	1. 絶対相談する	41.0	40.8	41.4	42.0	40.9	40.9			
ロ、担任の教師に相談	3. どちらともいえない	15.4	14.6	16.3	11.4	18.3	15.0			
	4. たぶん相談しない	8.9	8.7	9.0	9.3	7.9	9.4			
	5. 絶対相談しない	3.0	2.8	3.2	2.6	3.0	3.0			

③ 友人から三千円取ったことがわかったら	ハ、親せきに相談	1. 絶対相談する	16.7	15.7	17.8	18.4	15.8	16.5
		2. たぶん相談する	30.7	29.6	31.8	30.0	32.3	29.7
		3. どちらともいえない	19.3	20.6	18.0	15.8	21.7	19.1
		4. たぶん相談しない	23.8	24.7	22.8	27.4	22.4	23.2
		5. 絶対相談しない	9.5	9.4	9.6	8.4	7.8	11.5
	ロ、担任教師に相談	1. 絶対相談する	10.8	9.9	11.5	11.2	11.2	10.3
		2. たぶん相談する	22.7	21.3	24.1	23.4	20.5	24.1
		3. どちらともいえない	27.4	29.2	25.7	27.1	30.4	25.1
		4. たぶん相談しない	30.5	32.1	29.0	32.4	29.5	30.5
		5. 絶対相談しない	8.6	7.5	9.7	5.9	8.4	10.0
	イ、叱る	1. 絶対相談する	5.8	4.8	6.9	9.1	4.0	5.7
		2. たぶん相談する	13.6	13.7	13.6	12.8	11.2	16.0
		3. どちらともいえない	19.9	19.5	20.3	16.6	21.8	19.8
		4. たぶん相談しない	41.6	43.8	39.2	42.8	43.1	39.9
		5. 絶対相談しない	19.1	18.2	20.0	18.7	19.9	18.6
	ホ、親しい友だちに相談	1. 体罰をして非常に強く叱る	43.8	46.3	41.4	48.4	44.3	41.3
		2. 体罰はしないでかなり強く叱る	35.8	35.2	36.3	31.1	35.1	38.7
		3. 体罰はしないでわりと強く叱る	8.2	7.3	9.1	7.9	7.4	9.0
		4. おだやかに話してきかせる	12.2	11.2	13.2	12.6	13.2	11.0
		5. 絶対相談する	3/4	36.9	31.5	36.8	33.8	33.6
	ニ、教育相談所に相談	2. たぶん相談する	41.5	39.6	43.8	40.3	41.2	42.5
		3. どちらともいえない	13.1	13.6	12.6	13.0	15.1	11.5
		4. たぶん相談しない	8.5	7.8	9.1	7.8	7.1	9.9
		5. 絶対相談しない	2.5	2.1	3.0	2.1	2.8	2.5
		1. 絶対相談する	16.2	16.1	16.4	18.9	16.5	14.6
ロ、担任教師に相談	2. たぶん相談する	25.2	25.3	25.2	25.8	25.9	24.6	
	3. どちらともいえない	23.5	22.9	24.0	20.0	26.8	22.5	
	4. たぶん相談しない	25.2	26.3	24.0	26.4	22.4	26.8	
	5. 絶対相談しない	9.9	9.4	10.4	8.9	8.4	11.5	
	1. 絶対相談する	10.8	9.9	11.7	11.7	11.8	9.5	
イ、叱る	2. たぶん相談する	18.3	18.1	18.6	22.9	16.5	17.7	
	3. どちらともいえない	31.5	32.5	30.3	29.3	32.3	31.8	
	4. たぶん相談しない	30.2	32.2	28.2	28.7	30.1	31.0	
	5. 絶対相談しない	9.2	7.3	11.2	7.4	9.3	10.0	
	ロ、担任教師に相談	1. 絶対相談する	5.3	4.3	6.4	9.6	2.8	5.4
2. たぶん相談する		13.0	13.5	12.4	10.1	13.0	14.3	
3. どちらともいえない		22.1	22.8	21.1	22.9	23.3	20.7	
4. たぶん相談しない		40.1	41.1	39.2	36.7	42.0	40.2	
5. 絶対相談しない		19.5	18.3	20.9	20.7	18.9	19.4	
(4) タバコをすっていたら	イ、叱る	1. 体罰をして非常に強く叱る	10.4	9.6	11.4	7.2	12.5	10.3
		2. 体罰はしないでかなり強く叱る	30.5	28.7	32.4	28.7	31.1	31.0
		3. 体罰はしないでわりと強く叱る	15.1	14.0	16.2	15.4	15.2	14.7
		4. おだやかに話して聞かせる	44.0	47.7	40.0	48.7	41.2	44.0
		5. 絶対相談する	14.6	13.7	15.6	14.8	12.3	16.3
ロ、担任教師に相談	2. たぶん相談する	36.0	35.2	36.7	32.8	37.8	36.3	
	3. どちらともいえない	24.5	24.4	24.8	23.8	25.3	24.2	
	4. たぶん相談しない	21.1	23.3	18.8	27.0	19.4	19.6	
	5. 絶対相談しない	3.8	3.4	4.1	1.6	5.2	3.6	

7	子どもの非行に親身になってくれる相談相手	②の祖母	1. 絶対相談する	6.6	6.0	7.1	5.3	5.3	8.2
		2. たぶん相談する	20.6	20.0	21.2	18.4	21.6	20.8	
		3. どちらともいえない	28.4	28.8	27.9	24.7	31.3	27.9	
		4. たぶん相談しない	33.5	34.0	33.2	41.6	33.0	30.0	
		5. 絶対相談しない	10.9	11.2	10.6	10.0	8.8	13.1	
		③の父(子)とも	1. 絶対相談する	2.7	1.9	3.5	2.6	2.5	2.8
		2. たぶん相談する	7.9	6.0	9.7	6.3	9.3	7.4	
		3. どちらともいえない	30.9	30.7	31.2	24.9	31.2	33.6	
		4. たぶん相談しない	44.5	47.7	41.3	55.1	43.9	40.0	
		5. 絶対相談しない	14.0	13.7	14.3	11.1	13.1	16.2	
		④兄弟姉妹	1. 絶対相談する	3.8	3.4	4.2	3.7	1.6	5.7
		2. たぶん相談する	16.8	17.6	15.9	14.3	14.5	19.8	
		3. どちらともいえない	22.8	23.6	22.0	19.0	25.2	22.7	
		4. たぶん相談しない	37.5	40.0	34.8	44.0	39.2	33.0	
		5. 絶対相談しない	19.1	15.4	23.1	19.0	19.5	18.8	
		⑤の親(せき)以外	1. すぐ相談する	91.5	93.3	89.8	90.0	92.4	91.4
		2. たぶん相談する	5.4	4.4	6.4	7.2	4.3	5.4	
		3. 半分半分	2.4	1.4	3.4	2.2	3.0	2.0	
		4. たぶん相談しない	0.6	0.9	0.2	0.6	0.3	0.9	
		5. 絶対相談しない	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.3	
		⑥校長先生	1. すぐ相談する	35.1	35.5	34.4	38.9	32.2	35.4
		2. たぶん相談する	27.0	26.8	27.4	25.5	29.2	26.1	
		3. 半分半分	18.1	17.7	18.5	16.8	19.3	17.7	
		4. たぶん相談しない	15.1	16.2	14.0	12.8	16.0	15.5	
		5. 絶対相談しない	4.7	3.8	5.7	6.0	3.3	5.3	
		⑦今の師担	1. すぐ相談する	30.3	30.4	30.3	31.5	31.6	28.7
		2. 絶対相談する	23.5	22.7	24.3	25.2	24.1	22.0	
		3. 半分半分	21.6	22.3	21.0	17.3	23.6	22.4	
		4. たぶん相談しない	19.1	21.1	16.9	18.1	16.1	22.0	
		5. 絶対相談しない	5.5	3.5	7.5	7.9	4.6	4.9	
			1. すぐ相談する	22.4	22.8	22.0	20.2	22.3	23.5
			2. たぶん相談する	31.5	29.7	33.4	30.1	35.2	29.2
			3. 半分半分	22.9	23.8	22.0	28.2	19.0	23.5
			4. たぶん相談しない	18.6	19.9	17.2	16.6	17.6	20.4
			5. 絶対相談しない	4.6	3.8	5.4	4.9	5.9	3.4
	1. すぐ相談する	4.3	3.9	4.7	3.9	3.9	4.9		
	2. たぶん相談する	7.6	7.6	7.6	6.5	6.3	9.4		
	3. 半分半分	15.8	16.9	14.7	13.6	14.9	17.7		
	4. たぶん相談しない	51.5	51.9	51.0	52.6	52.5	54.9		
	5. 絶対相談しない	20.8	19.7	22.0	23.4	22.4	13.1		
	1. すぐ相談する	8.0	7.5	8.6	5.9	8.4	8.7		
	2. たぶん相談する	13.4	15.5	11.2	13.7	12.2	14.2		
	3. 半分半分	23.7	26.1	21.2	25.5	21.4	24.8		
	4. たぶん相談しない	42.8	41.8	43.5	41.8	46.2	40.4		
	5. 絶対相談しない	12.1	9.1	15.5	13.1	11.8	11.9		
	1. すぐ相談する	41.1	41.9	40.2	43.3	39.2	41.7		
	2. たぶん相談する	38.9	40.4	37.3	38.6	38.8	39.1		
	3. 半分半分	11.9	10.9	13.0	10.5	14.1	10.8		
	4. たぶん相談しない	6.2	5.3	7.2	7.0	6.2	5.8		
	5. 絶対相談しない	1.9	1.5	2.3	0.6	1.7	2.6		

⑧ 日頃の家庭・子どもについての相談相手	④ 学校の教師	1. すぐ相談する	2.6	2.5	2.8	2.0	1.5	3.9		
		2. たぶん相談する	10.8	11.2	10.3	9.2	10.8	12.0		
		3. 半分半分	26.1	25.4	26.7	30.7	25.5	24.3		
		4. たぶん相談しない	51.7	52.2	51.3	47.6	54.3	51.4		
		5. 絶対相談しない	8.8	8.7	8.9	10.5	8.4	8.4		
		⑩ 教育相談所	1. 1年の時の担任	75.9	74.0	77.7	80.8	82.2	66.7	
			2. 2年の時の担任	3.1	4.1	2.1	4.0	1.4	4.0	
			3. 3年の時の担任	4.1	5.6	2.6	9.1	4.3	0.7	
			4. 4年の時の担任	7.9	7.1	8.8	6.1	7.8	9.3	
			5. 5年の時の担任	5.9	5.6	6.2	0.0	4.3	11.3	
			6. 6年の時の担任	3.1	3.6	2.6	0.0	0.0	8.0	
		⑪ 自分の友人	1. すぐ相談する	2.7	3.6	1.7	2.5	3.6	2.0	
			2. たぶん相談する	4.7	4.8	4.6	5.8	3.0	5.4	
			3. 半分半分	15.9	16.9	14.9	21.7	12.5	15.3	
			4. たぶん相談しない	64.5	62.6	66.4	62.5	67.2	63.4	
			5. 絶対相談しない	12.2	12.1	12.4	7.5	13.7	13.9	
		① 夫	1. すぐ相談する	8.4	8.9	8.0	11.0	7.5	7.9	
			2. たぶん相談する	22.7	21.3	24.3	26.9	20.8	22.2	
			3. 半分半分	26.4	27.2	25.5	29.7	27.5	23.7	
			4. たぶん相談しない	32.7	34.6	30.5	25.5	34.2	35.1	
			5. 絶対相談しない	9.8	8.0	11.7	6.9	10.0	11.1	
			② の(母)とも	1. すぐ相談する	5.9	7.0	4.8	4.9	6.4	6.1
				2. たぶん相談する	15.3	17.0	13.5	13.9	11.5	19.4
				3. 半分半分	31.4	31.2	31.5	33.3	33.3	28.5
				4. たぶん相談しない	36.6	34.8	38.6	38.9	38.1	34.2
5. 絶対相談しない	10.8			10.0	11.6	9.0	10.7	11.8		
③ の(父)とも	1. よく相談する		74.7	74.9	74.6	75.1	73.4	75.6		
	2. 時々相談する		18.1	17.6	18.5	16.8	20.7	16.5		
	3. 半分半分		3.2	3.4	3.0	2.7	3.3	3.4		
	4. あまり相談しない		2.5	2.3	2.7	4.3	1.3	2.5		
	5. ほとんど相談しない		1.5	1.8	1.2	1.1	1.3	2.0		
④ 兄弟姉妹	1. よく相談する	17.2	16.4	17.9	19.6	12.8	19.6			
	2. 時々相談する	28.4	30.3	26.6	29.4	29.4	27.0			
	3. 半分半分	15.5	15.5	15.5	12.4	19.0	14.2			
	4. あまり相談しない	23.4	24.0	22.7	21.6	25.2	22.8			
	5. ほとんど相談しない	15.5	13.8	17.3	17.0	13.6	16.4			
⑤ の(親)せき以外	1. よく相談する	9.1	8.5	9.7	8.1	8.1	10.4			
	2. 時々相談する	17.2	19.3	15.2	13.7	19.8	17.2			
	3. 半分半分	18.0	15.8	20.2	19.4	17.4	17.6			
	4. あまり相談しない	33.5	34.8	31.9	33.8	34.9	32.2			
	5. ほとんど相談しない	22.2	21.6	23.0	25.0	19.8	22.6			
⑥ ⑦ ⑧ ⑨	1. よく相談する	14.1	13.8	14.4	11.0	12.4	17.1			
	2. 時々相談する	25.1	26.0	24.0	23.2	24.8	26.4			
	3. 半分半分	17.0	17.1	16.9	15.2	17.5	17.4			
	4. あまり相談しない	26.0	26.3	25.9	32.3	27.1	22.0			
	5. ほとんど相談しない	17.8	16.8	18.8	18.3	18.2	17.1			
⑦	1. よく相談する	1.7	1.4	2.0	2.5	0.4	2.3			
	2. 時々相談する	6.2	5.3	7.2	3.8	6.8	7.0			
	3. 半分半分	7.2	9.5	4.9	7.0	6.8	7.7			
	4. あまり相談しない	31.4	32.6	30.3	30.4	34.5	29.4			
	5. ほとんど相談しない	53.5	51.2	55.6	56.3	51.5	53.6			

		1. よく相談する	0.1	0.0	0.3	0.0	0.4	0.0
		2. 時々相談する	1.0	0.8	1.1	1.3	0.0	1.6
		3. 半分半分	1.7	1.3	2.0	2.5	1.6	1.3
		4. あまり相談しない	16.6	17.5	15.6	15.0	16.9	17.1
		5. ほとんど相談しない	80.6	80.4	81.0	81.2	81.1	80.0
		1. よく相談する	7.8	7.6	8.0	6.6	7.4	8.8
		2. 時々相談する	22.5	22.8	22.3	28.1	20.3	21.5
		3. 半分半分	18.8	18.0	19.3	16.2	19.2	19.7
		4. あまり相談しない	21.4	22.1	20.6	20.4	20.7	22.4
		5. ほとんど相談しない	29.5	29.5	29.8	28.7	32.4	27.6
		1. よく相談する	3.5	3.9	3.0	4.0	2.6	3.9
		2. 時々相談する	4.2	4.3	4.0	5.1	4.6	3.3
		3. 半分半分	5.3	5.2	5.5	9.1	3.9	4.4
		4. あまり相談しない	16.5	16.9	16.0	15.2	17.1	16.7
		5. ほとんど相談しない	70.5	69.7	71.5	66.6	71.8	71.7
9	本人の 能力	1. とてもある	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3
		2. かなりある	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3
		3. 少しある	9.7	12.8	6.6	8.7	10.9	9.0
		4. あまりない	51.9	56.7	46.8	52.7	52.1	51.3
		5. まったくない	38.2	30.2	46.3	38.6	37.0	39.1
10	学 歴	1. 中学卒	23.9	22.3	25.6	26.3	22.6	23.9
		2. 高校卒	61.3	63.1	59.2	60.4	64.3	58.5
		3. 短大卒	6.0	6.0	6.0	6.1	6.2	5.6
		4. 大学卒	6.1	7.3	5.0	5.0	3.6	9.5
		5. その他	2.7	1.3	4.2	2.2	3.3	2.5
	大 学	1. 中学卒	23.8	23.2	24.3	22.9	25.9	22.0
		2. 高校卒	50.5	50.8	50.3	48.5	54.1	47.9
		3. 短大卒	1.6	1.8	1.3	1.1	1.3	2.1
		4. 大学卒	20.3	21.9	18.8	24.6	16.1	22.3
		5. その他	3.8	2.3	5.3	2.9	2.6	5.7
11	本人の 仕事	1. 主婦	35.7	35.2	36.3	34.0	39.1	33.2
		2. パート	23.0	23.2	22.8	22.2	22.4	24.1
		3. フルタイム勤務	18.3	17.8	18.7	20.0	15.7	20.0
		4. 家業手伝い	17.4	17.0	17.9	16.8	17.0	18.3
		5. その他	5.6	6.8	4.3	7.0	5.8	4.4
12	子ども の成績	1. 上の方	12.0	10.1	13.9	8.9	13.0	13.4
		2. 中の上ぐらい	25.6	29.4	22.2	24.4	20.4	31.7
		3. 中ぐらい	42.1	39.0	44.8	46.4	42.5	38.4
		4. 中よりやや下	14.3	14.2	14.3	15.4	17.9	9.8
		5. かなり下の方	6.0	7.3	4.8	4.9	6.2	6.7
13	何 番 目 か	1. 1番上	54.6	59.5	54.9	65.0	50.9	50.4
		2. 2番目	32.8	32.6	33.2	27.5	36.2	33.3
		3. 3番目	9.0	6.5	8.1	5.8	9.2	11.3
		4. 4番目以下	3.6	1.4	3.8	1.7	3.7	5.0